

北東アジア動向分析

2021 年 5 月

ERINA

中国

2020年の東北三省主要経済指標

中国国内における新型コロナウイルスが迅速かつ効果的に抑制され、2020年の中国の国内総生産（GDP）は、物価の変動を除く実質で前年比2.3%増えた。東北三省の実質域内総生産（GRP）と実質GRP成長率は、遼寧省が2兆5115億元で前年比0.6%増、吉林省が1兆2311億元で同2.4%増、黒龍江省が1兆3698億元で同1.0%増となった。東北三省は経済環境が厳しかった2020年においてプラス経済成長を達成したが、西部、南部の省の速い回復と成長とは対照的に、回復ペースは全国平均水準を下回った。東北地域の振興が喫緊の課題だといえるだろう。

三省のGRPの産業別の内訳をみると、2020年における遼寧省の第1次産業の付加価値額は2285億元で前年比3.2%増、第2次産業は9401億元で同1.8%増、第3次産業は1兆3429億元で同0.7%減となった。吉林省の第1次産業の付加価値額は1553億元で同1.3%増、第2次産業は4326億元で同5.7%増、第3次産業は6432億元で同0.1%増となった。黒龍江省の第1次産業の付加価値額は3438億元で同2.9%増、第2次産業は3484億元で2.6%増、第3次産業は6777億元で1.0%減となった。三省とも、第3次産業は他の2つの産業部門より新型コロナウイルスにより大きい影響を受けており、回復速度が最も遅いことが示された。

東北三省の工業生産の動向をみると、2020年通年の一定規模以上の工業企業（年間売上高2000万元以上）の付加価値額の増加率は、遼寧省が上半期の2.3%減から通年の1.8%増になり、吉林省が上半期の3.3%増から6.9%増になり、黒龍江省が上半期の4.0%減から3.3%増になった。さらに、2020年全国の一定規模以上の工業企業の付加価値額は前年比2.8%増加した。吉林省と黒龍江省の一定規模以上の工業企業の成長は全国平均レベルより速かったことが示された。

投資については、2020年における遼寧省の固定資産投資額（農家投資を除く：以下同じ）は前年比2.6%増、吉林省は同8.3%増、黒龍江省は同3.6%増であった。固定資産投資額の産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業は前年比79.9%増、第2次産業は同5.1%減、第3次産業は同4.9%増であった。吉林省の第1次産業の固定資産投資額は同68.3%増、第2次産業は同9.0%増、第3次産業は同7.1%増であった。黒龍江省の第1次産業の固定資産投資額は1.2倍増、第2次産業は同0.8%減、第3次産業は1.7%減となった。いずれの地域でも第1次産業の固定資産投資額が大幅に増加したことが示された。

消費動向をみると、2020年の社会的消費財小売総額は、遼寧省が8961億元で前年比7.3%減、吉林省が3824億元で同9.2%減、黒龍江省が同9.1%減となった。消費者

物価指数（CPI）は、遼寧省が前年比 2.4%上昇、吉林省が同 2.3%上昇、黒龍江省が同 2.3%上昇した。

貿易動向をみると、2020 年通年の輸出入額は、遼寧省が 6544 億元で前年比 9.9%減、吉林省が 1280 億元で同 1.7%減、黒龍江省が 1537 億元で同 17.7%減となった。

2020 年の中国東部、中部、西部の経済発展

新型コロナウイルスの影響を受けて世界経済の下振れ圧力が増大する状況下、中国が 2020 年通年では予想を超えるプラス成長となり、主要国で唯一プラス成長を維持した。同時に、中国の内陸各省は様々な回復および成長ペースを示した。

下の表に示すように、2020 年には中部は実質 GRP 成長率が前年比 3.0%増、西部は実質 GRP 成長率が同 3.7%増であり、東部（同 2.9%）よりも成長率が高かった。しかし、2019 年の実質 GRP 成長率と比較すると、2020 年の中部の成長率は 3.7 ポイント減少し、西部の成長率は 3.4 ポイント減少し、実質 GRP 成長率の変動が東部（3.2 ポイント減）よりも大きかった。それは、新型コロナウイルスが中国の中西部地域により大きな影響を及ぼしていたと考えられる。それでも、中西部地域は近年比較的速い成長率を維持しているため、2020 年も東部地域よりも高い成長率を維持できた。特にチベットの 2020 年通年の実質 GRP 成長率は 7.8%となり、昨年中国で最も成長率が高い省であった。それは、1999 年以来実施された西部大開発戦略の経済効果の現れだろう。つまり、中国政府の政策などの支援により、西部地域が次の段階で中国の新たな成長点になる可能性が高いことを示しているだろう。

（ERINA 研究員 董 琪）

		2018年				2019年				2020年			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.6	5.7	4.5	4.7	6.1	5.5	3.0	4.2	2.3	0.6	2.4	1.0
工業生産伸び率(付加価値額)	%	6.2	9.8	5.0	3.0	5.7	6.7	3.1	2.8	2.4	1.8	6.9	3.3
固定資産投資伸び率(名目)	%	5.9	3.7	1.6	▲ 4.7	5.1	0.5	▲ 16.3	6.3	2.9	2.6	8.3	3.6
社会的消費財小売額伸び率(名目)	%	9.0	6.7	4.8	6.3	8.0	6.1	3.4	6.2	▲ 3.9	▲ 7.3	▲ 9.2	▲ 9.1
輸出入収支	億ドル	3,517.6	▲ 162.6	▲ 103.6	▲ 169.0	4,215.1	▲ 142.0	▲ 94.6	▲ 166.4	5,350.3	▲ 189.4	▲ 106.8	▲ 124.6
輸出伸び率	%	7.1	5.7	8.8	▲ 16.7	0.5	▲ 2.6	▲ 0.6	18.8	3.6	▲ 15.3	▲ 10.3	3.2
輸入伸び率	%	12.9	16.8	8.5	56.5	▲ 2.8	▲ 5.0	▲ 5.7	4.2	▲ 1.1	▲ 5.8	1.1	▲ 22.5

(注)前年比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2,000万元に引き上げた。

2011年1月以降、固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とするが、農家を含まない。

2018年以降の貿易データは公表値が元建であったことから、輸出・輸入の伸び率は公表されている元建数値の伸び率、貿易収支は元建貿易収支の数値を人民銀行公表の期末為替レート(2018年12月末:6.8632、2019年12月末:7.0128、2020年12月末:6.5434)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、商務部、遼寧省統計局、吉林省統計局、黒龍江省統計局ウェブサイトならびに黒龍江日報、遼寧日報、吉林日報、人民銀行の資料より作成。

東部省	2020年名義 GRP(億元)	2020年実質 GRP伸び率 (%)	実質GRP伸 び率の変動 (%)	中部省	2020年名義 GRP(億元)	2020年実質 GRP伸び率 (%)	実質GRP伸 び率の変動 (%)	西部省	2020年名義 GRP(億元)	2020年実質 GRP伸び率 (%)	実質GRP伸 び率の変動 (%)
北京	36103	1.2	▲ 4.9	山西	17652	3.6	▲ 2.5	重慶	25003	3.9	▲ 2.4
天津	14084	1.5	▲ 3.3	内蒙古	17360	0.2	▲ 5.0	四川	48599	3.8	▲ 3.6
河北	36207	3.9	▲ 2.8	吉林	12311	2.4	▲ 0.6	貴州	17827	4.5	▲ 3.8
遼寧	25115	0.6	▲ 4.8	黒龍江	13699	1.0	▲ 3.0	雲南	24522	4.0	▲ 4.1
上海	38701	1.7	▲ 4.3	安徽	38681	3.9	▲ 3.4	チベット	1903	7.8	▲ 0.3
江蘇	102719	3.7	▲ 2.2	江西	25692	3.8	▲ 4.1	陝西	26182	2.2	▲ 3.8
浙江	64613	3.6	▲ 3.2	河南	54997	1.3	▲ 5.5	甘肅	9017	3.9	▲ 2.3
福建	43904	3.3	▲ 4.2	湖北	43443	5.0	▲ 2.3	青海	3006	1.5	▲ 4.6
山東	73129	3.6	▲ 1.7	湖南	41782	3.8	▲ 3.8	寧夏	3921	3.9	▲ 2.6
広東	110761	2.3	▲ 3.9					新疆	13798	3.4	▲ 2.8
広西	22157	3.7	▲ 2.3								
海南	5532	3.5	▲ 2.3								
東部全体	573024	2.9	▲ 3.2	中部全体	265616	3.0	▲ 3.7	西部全体	173775	3.7	▲ 3.4

(注)前年比

各省の実質GRP成長率は各省の統計公報の速報値であるため、それらの加重平均は全国平均実質GDPの伸び率と一致していない。

(出所)中国国家统计局、各省の2020年度の国民経済和社会发展統計公報より作成。

ロシア（極東）

2020年と2021年第1四半期のロシア極東経済

極東地域がコロナショックから受けた経済的ダメージは大きい。

2020年の鉱工業生産はロシア全体で2.6%減であったが、極東はさらに低い4.1%減を記録した。これはシベリア（4.4%減）に次ぐ低水準である。一方で、中央（5.2%増）や北カフカス（6.5%増）は好調であった。この傾向は2021年第1四半期も続いている。ロシア全体の鉱工業生産の伸びが1.3%減であったのに対して、極東は3.1%減であり、シベリア（2.8%減）よりも深刻になっている。鉱工業生産の状況は地域ごとに大きく異なる。生産が特に大きく減少したのは、沿海地方とカムチャツカ地方である。沿海地方は2020年3月から、カムチャツカ地方は同7月から（前年同月比で54.6%減）生産が減少している。

沿海地方の鉱工業生産は2020年20.6%減、2021年第1四半期4.5%減となった。採掘部門と製造業は、2020年に4.0%減および28.3%減、2021年第1四半期に7.1%減および7.4%減であった。これにより、鉱工業生産に占める製造業の比率は2019年の73.9%から2020年に67.1%へと縮小し、かわってライフライン（電気、ガス、上下水道、ごみ処理等）の比率が20.0%から25.4%へ拡大した。金属・金属製品、コンピューター、光学製品などの生産が大きく伸びた一方で、革靴、輸送手段、機械・設備の修理・組み立てなどで生産が半減以上に落ち込んだ。食品関係では植物・動物油脂、製粉製品の生産が減少した。

カムチャツカ地方の鉱工業生産は2020年5.7%減および2021年第1四半期6.7%減となった。カムチャツカ地方の鉱工業生産は、採掘部門が2020年9.2%増、2021年第1四半期9.1%減であり、製造業がそれぞれ9.1%減および8.2%減となった。2020年に生産が減少した資源は石油・ガス（11.3%減）およびその他（23.4%減）であったが、2021年第1四半期には石炭（16.5%減）、石油・ガス（1.7%減）、金属鉱石（9.6%減）の生産が減少した（その他、22.4%増）。製造業部門では、繊維製品、紙・紙製品、冶金において、また食品では冷凍の甲殻類、保存用の菓子などにおいて生産が大きく落ち込んだ。

これに対して、ブリヤート共和国とマガダン州では鉱工業生産が引き続き増加している。2020年および2021年第1四半期の鉱工業生産対前年同期比実質増減率は、ブリヤート共和国が7.4%増および6.2%増、マガダン州が5.6%増および1.3%増である。コロナ禍において、鉱工業生産がマイナスとなったのは、ブリヤート共和国では2020年5-7月と2021年2月、マガダン州では2020年6月と12月だけである。ブリヤート共和国の場合、採掘部門と製造業の生産の伸びは2020年において15.7%増および7.4%増、2021年第1四半期において15.9%減および30.0%増であった。飲料品、衣類、金属製品、輸送手段、家具、乳製品、肉の加工製品、穀物製品など多くの

製品の生産が増大している。一方で、マガダン州の好調の背景には、化学物資・製品の生産が225.3%増大したことがあるが、それ以外の部門では大きな生産増は見られない。

投資面でも極東の不振は際立っており、2020年の固定資本投資の伸びはロシア全体の1.4%減であったのに対して、極東は12.6%減となった。これは他の連邦管区と比較して特に低い水準である。特に、サハ共和国（49.1%減）、サハリン州（15.2%減）、沿海地方（9.5%減）において投資の不振が目立った。サハ共和国に関しては、「シベリアの力」パイプラインの域内の部分の建設が完了したことに加えて、アルロサ（ダイヤモンド）、スルグートネフチガスおよびタアス・ユリヤフ（石油、ガス）などの大手企業やそれ以外の中小企業による投資が大きく減少（70%減）したことによる。一方で、ザバイカル地方（20.5%増）、カムチャツカ地方（21.2%増）、ハバロフスク地方（24.7%増）において投資が大きく増大した。

生産や投資の状況とは対照的に、家計に関わる分野に関して、極東の状況はロシア全体と同様に推移し、2021年第1四半期には小売売上高がプラスに転じた。2020年を通して小売取引が大きく減少した沿海地方でも回復改善の傾向が見られる。

(ERINA 調査研究部部長代理・主任研究員 志田仁完)

鉱工業生産高増減率(前年同期比%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	0.2	1.8	3.7	3.5	3.4	▲ 2.6	3.2	3.2	3.6	2.6	▲ 2.1	▲ 3.0	▲ 1.3
極東連邦管区	4.4	3.4	3.1	5.4	6.6	▲ 4.1	3.3	5.5	6.9	2.2	▲ 1.9	▲ 4.9	▲ 3.1
ブリヤート共和国	0.9	▲ 11.1	1.3	2.4	11.6	7.4	▲ 1.2	6.1	16.4	12.6	3.5	3.4	6.2
ザバイカル地方	▲ 1.2	4.8	3.7	3.8	5.6	▲ 2.4	▲ 1.1	2.6	5.2	0.1	1.5	▲ 1.6	0.5
サハ共和国	5.8	0.8	2.5	7.6	11.3	▲ 5.1	3.1	9.1	11.8	1.3	▲ 9.2	▲ 9.2	12.2
カムチャツカ地方	3.4	10.1	5.7	12.8	▲ 4.5	▲ 5.7	2.2	4.1	▲ 4.1	4.5	10.4	▲ 8.1	▲ 6.7
沿海地方	▲ 9.5	6.0	18.7	▲ 3.6	18.2	▲ 20.6	▲ 15.4	14.5	19.2	4.3	▲ 14.3	▲ 18.0	▲ 4.5
ハバロフスク地方	▲ 0.6	8.4	9.1	0.3	2.5	▲ 0.9	2.2	3.3	2.7	3.9	4.7	0.4	▲ 5.0
アムール州	▲ 9.3	▲ 4.0	5.3	▲ 2.4	9.9	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 2.4	0.5	5.6	4.6	▲ 1.9	▲ 5.7
マガダン州	6.4	1.9	7.7	9.6	12.6	5.6	22.3	14.6	11.3	0.1	2.3	6.8	1.3
サハリン州	11.9	5.9	▲ 0.1	6.4	2.8	▲ 3.4	6.3	2.8	3.9	1.3	1.2	▲ 2.8	▲ 13.5
ユダヤ自治州	▲ 18.1	▲ 0.5	60.4	14.9	2.6	▲ 3.3	▲ 6.0	0.7	1.3	5.1	▲ 1.0	▲ 1.6	▲ 1.2
チュコト自治管区	2.6	▲ 8.3	▲ 9.8	0.4	5.8	▲ 1.9	1.3	4.0	5.3	0.3	1.6	▲ 2.2	▲ 1.4

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2018年7月26日);ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2021年4月19日)。

(注)2014年以前の地域別・年次データは全ロシア経済活動分類(OKVED)・第1.1版(UISISデータ)、2015年以降の年次データおよび四半期データはOKVED・第2版・2018年基準価格指数(2020年12月17日改訂)である。2015年以降、ブリヤート共和国および在バイカル地方は極東連邦管区の統計に含まれている。

固定資本投資増減率(前年同期比%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	▲ 10.1	▲ 0.2	4.8	5.4	2.1	▲ 1.4	0.5	0.6	0.7	1.2	▲ 4.0	▲ 4.1	-
極東連邦管区	▲ 1.1	▲ 1.2	10.8	6.2	8.8	▲ 12.6	▲ 5.7	▲ 2.6	0.6	▲ 9.9	▲ 8.6	▲ 6.5	-
ブリヤート共和国	▲ 9.7	▲ 15.2	21.0	6.8	43.5	▲ 3.6	4.5	49.4	21.0	6.3	▲ 1.5	15.5	-
ザバイカル地方	3.5	6.5	5.9	▲ 11.4	▲ 1.2	20.5	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 12.9	31.5	52.9	35.1	-
サハ共和国	▲ 0.6	29.0	36.0	1.9	0.2	▲ 49.1	▲ 11.1	▲ 20.2	▲ 10.4	▲ 43.4	▲ 39.2	▲ 33.8	-
カムチャツカ地方	▲ 19.5	48.5	3.0	▲ 5.4	9.7	21.2	▲ 6.9	6.0	0.5	1.1	28.5	49.4	-
沿海地方	▲ 5.6	▲ 12.6	▲ 1.4	3.6	17.2	▲ 9.5	5.1	▲ 1.9	▲ 6.7	21.4	6.6	5.2	-
ハバロフスク地方	▲ 21.7	▲ 2.1	▲ 1.5	13.5	15.2	24.7	▲ 1.8	0.9	3.8	22.8	19.4	24.0	-
アムール州	28.9	15.5	40.9	15.4	26.5	▲ 6.1	23.9	20.2	24.7	▲ 10.8	▲ 1.0	▲ 5.7	-
マガダン州	33.1	▲ 34.3	4.0	27.9	▲ 33.1	▲ 0.4	▲ 52.1	▲ 52.1	▲ 51.4	▲ 16.1	▲ 10.5	3.0	-
サハリン州	▲ 4.4	▲ 21.4	▲ 17.1	4.8	1.0	▲ 15.2	▲ 15.1	16.6	14.4	9.4	▲ 18.7	▲ 18.6	-
ユダヤ自治州	12.9	1.3	▲ 21.6	43.7	▲ 13.1	▲ 6.7	1.5倍	41.1	0.0	▲ 48.3	▲ 36.1	▲ 30.2	-
チュコト自治管区	56.2	▲ 17.2	▲ 0.1	35.7	49.1	9.1	▲ 2.7	60.7	38.7	68.0	23.7	29.8	-

(出所)ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2021年3月9日);省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2020年11月26日);『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年

(注)2018年の数値は、ブリヤート共和国および在バイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

小売販売額増減率(前年同期比%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	▲ 10.0	▲ 4.8	1.3	2.8	1.9	▲ 3.2	1.8	1.7	1.4	4.3	▲ 6.4	▲ 4.8	▲ 1.6
極東連邦管区	▲ 1.5	▲ 2.3	2.0	3.3	3.3	▲ 2.5	2.1	2.2	2.5	2.1	▲ 6.0	▲ 5.0	0.2
ブリヤート共和国	1.7	▲ 3.0	▲ 1.0	0.2	1.0	▲ 0.7	0.1	0.1	▲ 0.6	0.0	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 4.3
ザバイカル地方	▲ 9.1	▲ 2.6	▲ 0.3	1.2	0.7	▲ 3.9	2.0	1.7	1.3	1.3	▲ 6.2	▲ 4.8	▲ 1.0
サハ共和国	2.1	▲ 0.6	0.1	5.2	4.6	▲ 3.8	3.3	3.2	3.8	2.2	▲ 15.8	▲ 8.3	▲ 0.8
カムチャツカ地方	▲ 4.7	▲ 4.3	0.5	3.2	3.4	▲ 1.2	1.7	2.4	2.4	0.2	▲ 3.1	▲ 2.2	5.0
沿海地方	2.5	▲ 3.3	3.2	5.9	6.3	▲ 5.7	2.0	2.5	3.9	0.2	▲ 9.6	▲ 10.6	2.6
ハバロフスク地方	▲ 4.7	▲ 0.3	2.7	2.3	2.3	0.1	2.2	2.0	2.0	2.7	▲ 4.0	▲ 3.9	1.4
アムール州	▲ 5.0	▲ 3.3	2.2	2.8	1.5	▲ 0.7	2.6	2.7	2.5	1.8	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 0.6
マガダン州	▲ 7.8	0.0	0.4	1.5	0.1	▲ 2.7	3.0	2.3	0.3	0.3	▲ 5.8	▲ 6.5	2.2
サハリン州	▲ 3.9	▲ 4.2	1.0	2.9	3.8	▲ 1.5	2.5	3.1	3.9	8.8	0.4	1.1	▲ 2.1
ユダヤ自治州	▲ 3.2	▲ 8.4	▲ 1.7	4.0	3.8	▲ 5.0	3.0	2.7	2.4	1.0	▲ 10.4	▲ 7.6	▲ 1.5
チュコト自治管区	5.0	5.1	6.9	1.5	3.0	1.2	▲ 0.1	0.1	0.7	1.1	0.8	1.4	0.4

(出所)ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2021年4月19日);『ロシアの社会経済情勢(2017年3月、6月、9月;2018年3月、6月、9月;2019年3月、6月、9月;11月;2020年3月、6月、9月、11月;2021年3月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

(注)2018年および2019年1-6月の数値は、ブリヤート共和国および在バイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値。

消費者物価上昇率(前年12月比%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	12.9	5.4	2.5	4.3	3.0	4.9	1.8	2.5	2.3	1.3	2.6	2.9	2.1
極東連邦管区	12.0	5.4	2.1	3.8	3.9	5.0	1.7	2.5	3.1	1.1	2.4	3.1	1.5
ブリヤート共和国	10.7	4.2	2.1	5.0	4.1	6.0	2.2	3.2	3.2	1.7	3.4	4.2	1.7
ザバイカル地方	14.3	5.0	2.5	4.0	3.8	5.3	1.7	2.8	3.0	1.8	3.3	3.6	2.4
サハ共和国	10.5	6.0	4.4	2.7	4.2	4.0	1.6	2.7	3.6	0.4	1.6	2.5	1.2
カムチャツカ地方	12.6	5.7	2.1	3.4	2.5	3.3	1.6	2.0	2.0	0.7	1.7	2.3	1.9
沿海地方	11.9	4.8	1.8	4.2	3.2	5.0	1.4	1.9	2.4	1.0	2.3	3.0	1.6
ハバロフスク地方	13.1	6.1	2.6	4.0	4.2	4.9	2.2	2.8	3.5	1.1	2.4	3.0	1.3
アムール州	12.8	5.0	1.7	4.6	4.8	7.2	1.8	2.7	3.6	1.6	3.2	4.4	0.8
マガダン州	13.1	3.7	3.1	4.7	2.6	5.0	1.1	1.7	1.8	0.9	2.1	3.0	1.6
サハリン州	10.6	4.8	2.2	2.8	3.5	5.0	1.2	1.8	2.2	1.2	2.1	2.8	0.8
ユダヤ自治州	11.1	6.7	2.5	4.6	4.7	6.1	1.7	3.0	4.0	1.6	3.6	4.1	1.6
チュコト自治管区	11.1	5.9	2.8	4.9	3.8	1.9	4.2	3.2	3.3	1.3	1.7	1.5	1.3

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2021年5月18日)に基づき作成。

(注)2019年以降の極東連邦管区の数値は、ブリヤート共和国および在バイカル地方を含む11連邦構成主体の集計値である。

実質貨幣所得増減率(前年同期比%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 0.2	1.4	1.7	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 0.4	0.9	0.9	▲ 3.1	▲ 3.6	-
極東連邦管区	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 0.3	0.1	1.9	▲ 2.3	▲ 0.6	1.6	1.0	0.4	▲ 2.0	▲ 2.4	-
ブリヤート共和国	1.1	▲ 6.0	▲ 2.1	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 9.7	▲ 4.5	▲ 3.0	0.3	▲ 1.5	▲ 2.3	-
ザバイカル地方	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 1.1	2.9	1.9	▲ 1.6	▲ 2.2	1.9	3.3	0.6	▲ 1.2	▲ 0.8	-
サハ共和国	0.4	▲ 2.3	▲ 0.5	3.3	2.2	▲ 2.2	5.1	3.2	1.7	0.4	▲ 3.5	▲ 3.2	-
カムチャツカ地方	▲ 2.8	▲ 5.4	▲ 0.4	5.1	3.9	0.0	0.8	2.6	3.0	1.5	1.4	1.0	-
沿海地方	▲ 2.3	▲ 5.7	▲ 0.2	3.8	1.9	▲ 3.0	0.9	4.1	3.1	0.7	▲ 3.0	▲ 4.0	-
ハバロフスク地方	▲ 2.6	▲ 4.5	▲ 2.2	1.5	0.7	▲ 3.8	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 2.4	▲ 1.0	▲ 3.4	▲ 4.5	-
アムール州	▲ 3.9	▲ 7.9	1.1	2.4	1.7	▲ 1.0	▲ 1.7	0.8	0.6	1.8	▲ 0.9	▲ 1.5	-
マガダン州	▲ 2.7	▲ 6.1	2.3	4.4	3.1	0.5	▲ 1.9	4.2	0.0	3.7	0.2	1.2	-
サハリン州	1.6	▲ 2.5	▲ 1.0	4.7	5.6	▲ 2.5	3.3	6.4	3.8	0.0	0.4	0.4	-
ユダヤ自治州	▲ 6.4	▲ 10.8	▲ 2.8	▲ 0.4	1.2	▲ 1.1	▲ 3.7	0.9	0.2	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 1.7	-
チュコト自治管区	▲ 2.8	▲ 2.6	3.6	4.3	1.5	5.1	▲ 2.1	0.0	0.2	3.3	4.4	5.5	-

(出所)省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース、2021年4月30日)。月次データは『ロシアの社会経済情勢(2017年4月、7月、10月;2018年4月、7月、10月;2019年4月、7月、10月;2020年4月、7月、10月)』。

平均月額名目賃金(ルーブル)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	19・1-3月	19・1-6月	19・1-9月	20・1-3月	20・1-6月	20・1-9月	21・1-3月
ロシア連邦	34,030	36,709	39,167	43,724	47,867	51,352.0	43,944	46,210	46,057	48,377	49,600	49,426	51,984
極東連邦管区	43,164	45,786	48,952	51,667	56,437	60,358.0	51,357	54,274	54,181	56,250	58,335	57,896	59,767
ブリヤート共和国	28,386	29,969	32,237	36,047	39,115	41,800.0	35,585	37,918	37,495	39,300	41,153	40,176	41,725
ザバイカル地方	30,931	32,654	34,848	40,740	43,896	47,172.0	39,679	41,869	41,682	42,787	45,102	44,935	45,674
サハ共和国	54,631	59,000	62,206	68,871	73,402	77,178.0	66,053	71,182	69,722	71,574	74,841	73,133	75,524
カムチャツカ地方	57,404	61,159	65,807	73,896	80,448	85,623.0	69,156	75,876	77,176	75,195	81,237	81,438	80,232
沿海地方	33,807	35,677	38,045	42,199	46,867	50,105.0	42,703	44,749	44,759	47,688	48,475	48,389	49,736
ハバロフスク地方	38,041	40,109	42,465	47,153	50,213	53,113.0	46,695	48,638	49,054	50,374	51,808	51,038	54,005
アムール州	32,902	33,837	37,368	42,315	47,234	52,430.0	43,367	45,414	45,489	48,511	49,995	50,390	53,817
マガダン州	65,996	69,769	75,710	85,631	94,856	102,843.0	81,250	89,470	88,442	89,315	96,568	96,163	99,010
サハリン州	61,311	64,959	68,496	77,499	87,418	92,518.0	82,434	84,166	84,227	89,496	90,907	90,248	92,067
ユダヤ自治州	30,896	32,165	34,409	39,242	42,400	46,237.0	39,193	41,049	41,132	43,411	45,353	45,529	45,034
チュコト自治管区	79,531	86,647	91,995	98,864	107,107	120,641.0	100,172	104,954	103,998	109,305	116,485	116,411	122,877

(出所)ロシア連邦国家統計庁ウェブサイト最新値(2021年5月21日)。

モンゴル

モンゴルの経済は COVID-19 の世界的大流行の影響によって、引き続き大きな打撃を受けている。2020 年 11 月に初めて報告された COVID-19 の市中感染により、その後、2021 年 5 月 8 日までに、数次の国全体および地域の封鎖が行われた。5 月 10 日の時点で、モンゴルは国内で 4 万 5459 人の COVID-19 の感染者を記録しているが、このうち 507 人は海外からの入国者である。また死者は 170 人となっている。ウランバートルは全感染者の 88% を占めている。COVID-19 のワクチン接種は 2 月に開始された。5 月 8 日現在で、215 万件の接種が行われ、人口の 19.2% に当たる 61 万 8 千人が完全に接種を終え、人口の 47.6% にあたる 153 万 6 千人が 1 回目の接種を終えている。

2021 年第 1 四半期には経済回復のペースは加速したが、継続する COVID-19 の市中感染の拡大は今後の回復を遅らせる可能性がある。

マクロ経済

2021 年第 1 四半期に実質鉱工業生産（GIO）は、鉱業部門の生産量の増加により大きく上昇した。2021 年 2 月と 3 月に、それぞれ前年同月比 62.9% と 99.6% の大幅な増加となった。鉱業と採石業の生産高は 2 月と 3 月に、それぞれ前年同月比 2.1 倍と 2.6 倍に増加した。第 1 四半期の製造業と公益事業の生産高は、それぞれ前年同期比 31.5% と 8.4% 増加した。このセクターは検疫で課された COVID-19 予防のための制限を免除されていたためである。製造業の以前より高い生産高は、食品産業の生産の増加に関連していた。ただし、一部の金属および化学産業を除くほとんどの製造業の生産高は 1 年前よりも低かった。

2021 年第 1 四半期において、モンゴルの主要な輸出商品の 1 つである石炭の生産量は前年同期比 52.8% 増加し 1240 万トンとなった。銅精鉱の生産量は前年同期比 11.3% 増加し 34 万 2800 トンであった。同時期にモリブデン、蛍石精鉱、鉄鉱石、鉄精鉱などの他の主要輸出商品の生産量は前年同期より高かった。

2021 年第 1 四半期の消費者物価指数（CPI）の上昇は対前年同期比 2.5% であった。2021 年 3 月の食料及び非アルコール飲料の CPI の上昇は前年同期比 8.1% となった。一方、住宅、電力、燃料、運輸はそれぞれ 5% 以上低下した。

通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは、輸出の伸び悩みと輸入の停滞によって相対的に安定しており、2021 年第 1 四半期は 1 ドル＝2850 トゥグルグとなった。

貨幣供給量（M2）は増加を続け、2021 年 3 月末時点で 25.1 兆トゥグルグ（88.2 億米ドル）をとなり、トゥグルグベースで前年同期比 22.9%、米ドルベースで前年同期比 3.3% 増加した。企業と雇用を支援するための政府の 2 兆トゥグルグ貸出プログラムなどの効果により、2021 年 3 月末の貸付残高は 17.6 兆トゥグルグとなり、前年

同期比 2.9%増加を記録し、年初来初めての増加となった。3月末の不良債権の割合は 11.5%で、前月末の 11.8%から若干低下した。

国家財政は 2021 年 2 月と 3 月においてわずかな黒字を記録したが、2021 年第 1 四半期の累積では 960 億トゥグルグの赤字となった。総平衡収入と海外援助の合計は、前年同期比 26.7%増加し、2.63 兆トゥグルグとなった。総支出と純貸付は前年同期比 15.9%増加し、2.72 兆トゥグルグとなった。税金は前年同期比 25.6%増、非税収入は同 40.3%増であった。同時に、海外からの援助は 4 倍に増加し、168 億トゥグルグまたは 600 万ドルとなった。社会保障負担金と燃料税などの特別目的の税金を除いて、すべてのカテゴリーで税金が増加しました。同時に、1109 億トゥグルグと 1373 億トゥグルグがそれぞれ未来遺産基金と安定化基金に割り当てられた。財政支出の増加は主に、前年同期比 12.6%増加した経常支出、前年同期比 25.5%増加した設備投資によるものである。外国融資を財源とする純貸付は前年同期比 2.2 倍に増加した。

外国貿易

2021 年第 1 四半期においてモンゴルは 121 か国と貿易を行い、対外貿易の総額は 35 億ドル、輸出入はそれぞれ 20 億ドル、15 億ドル、貿易黒字は 4 億 7670 万ドルであった。輸出は前年同期比 93.1%増加し、輸入は同 32.2%増加した。総輸出の 88.8%を占める鉱業製品は、前年同期の 2 倍となった。しかし、非貨幣用金の輸出は前年同期比 68.1%減少し、2570 万ドルとなった。石炭と銅精鉱の輸出は以前よりも増加し、期間中、それぞれ 6 億 9230 万ドルと 6 億 2,110 万ドルとなった。国際市場での需要の復活によりモンゴルの石炭および銅精鉱の輸出価格は以前よりも上昇した。

2021 年第 1 四半期の中国への輸出は全体の 92.5%を占め、中国からの輸入は全体の 39.1%であった。2 番目の輸出先はスイスで全体の 2.5%であった。スイスへの輸出は事実上すべてが非貨幣用金であった。

同時に、2021 年第 1 四半期のロシアからの輸入は 4 億 690 万ドルで全体の 26.9%を占めた。モンゴルの唯一の EPA パートナーである日本からのモンゴルの輸入は 1 億 1700 万ドルで総輸入の 7.7%に相当し、3 番目に大きな輸入元となっている。同時に、韓国からの輸入は 5960 万ドルで総輸入量の 3.9%に相当し、4 番目に大きな輸入元となっている。

輸送

2021 年第 1 四半期の総貨物輸送量は、鉄道と道路の輸送量の増加により、前年同期比 15.7%増加した。第 1 四半期の鉄道貨物の売上高は前年同期比 4.7%増加した。鉱業製品の輸出に関するモンゴルと中国の国境の通過制限が緩和されたため、道路貨物の売上高は前年同期比 91.7%増加した。2021 年第 1 四半期の道路輸送による輸送貨

物は 930 万トンで、前年同期の 3 倍であった。2021 年 2 月と 3 月の鉄道貨物の売上高は、それぞれ前年同期比 5.5%、前年同期比 11.1%増加した。

しかし、COVID-19 パンデミックに関連する制限により、航空輸送は引き続き大きな打撃を受け、2021 年第 1 四半期の航空貨物の売上高は前年同期比 48.7%減少した。

(ERINA 調査研究部主任研究員 エンクバヤル・シャクダル)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年1Q	2020年2Q	2020年3Q	2020年4Q	2021年1Q	2020年2月	2021年3月
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	1.2	5.3	7.2	5.2	▲ 5.3	▲ 10.7	▲ 9.1	▲ 3.1	▲ 0.3	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	12.3	13.0	4.8	2.4	▲ 5.2	▲ 17.1	▲ 14.7	0.2	10.9	66.9	62.9	99.6
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.1	4.3	6.8	7.3	3.7	6.1	3.6	2.4	2.7	2.5	2.6	2.5
登録失業者(千人)	34.4	25.5	25.0	20.8	18.1	19.4	19.6	17.8	18.1	-	15.5	-
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,148	2,441	2,473	2,664	2,813	2,757	2,799	2,847	2,851	2,850	2,850	2,850
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	21.0	30.5	22.8	7.0	16.3	3.8	5.5	9.8	16.3	22.9	19.6	22.9
融資残高の変化(対前年同期比:%)	6.1	9.6	26.5	5.1	▲ 4.9	▲ 1.8	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	2.9	▲ 1.2	2.9
不良債権比率(%)	8.5	8.5	10.4	10.1	11.7	10.7	11.0	11.4	11.7	11.5	11.8	11.5
貿易収支(百万USDドル)	1,558	1,863	1,137	1,492	2,282	▲ 126	494	851	1,064	477	231.2	64.4
輸出(百万USDドル)	4,916	6,201	7,012	7,620	7,576	1,036	1,792	2,319	2,429	2,000	695	666
輸入(百万USDドル)	3,358	4,337	5,875	6,128	5,294	1,162	1,299	1,468	1,366	1,524	463	601
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 3,660	▲ 1,742	3	▲ 628	▲ 4,539	▲ 276	▲ 1,922	▲ 541	▲ 1,800	▲ 96	6	17
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	20.0	15.3	14.6	7.4	1.1	▲ 6.3	▲ 8.5	1.9	17.0	15.7	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	7.9	9.1	13.5	13.5	10.3	10.8	12.6	13.0	5.0	4.7	5.5	11.1
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	78.4	33.6	17.3	▲ 6.6	▲ 24.5	▲ 54.5	▲ 68.8	▲ 19.9	73.1	91.7	-	-
成畜死亡数((対前年同期比:%)	2.3	▲ 38.8	3.0	▲ 58.0	85.0	89.2	78.0	78.4	98.0	1.9	1.9	1.3

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか

韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が4月27日に公表した2021年第1四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比1.6%となり、前期の同1.4%を上回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同1.3%で前期の同▲1.2%からプラスに転じた。固定資本形成は同2.3%で前期の同2.6%から低下した。その内訳では、建設投資はビル建設の伸びにより同0.4%となった。前期の同6.5%からは低下した。設備投資は一般機械及び輸送機械部門の伸びにより同6.6%となり、前期の同▲2.0%からプラスに転じた。外需である財・サービスの輸出は自動車、携帯電話の輸出の伸びにより同1.9%となった。前期の同5.4%からは低下した。一方で財・サービスの輸入も機械・設備、金属製品の輸入の伸びで同2.4%となった。

2021年第1四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比3.5%となり、前期の同2.9%から上昇した。月次では季節調整値で、2021年2月に前月比4.4%、3月に同▲0.8%となっている。

2021年第1四半期の失業率は季節調整値で4.4%であった。月次では2021年2月に4.0%、3月は3.9%となっている。

2021年2月の貿易収支（IMF方式）は60億ドルの黒字であった。

2021年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル=1115ウォン、月次では2021年2月に同1112ウォン、3月に同1131ウォン、4月に同1118ウォンと推移している。

2021年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比1.1%であった。月次では2021年2月に前年同月比1.1%、3月に同1.5%、4月に同2.3%と推移している。2021年第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比2.3%であった。月次では2021年2月に前年同月比2.1%、3月に同3.9%であった。

ソウル、釜山の市長選挙と首相交代

文在寅政権の任期が残り一年となる中、4月7日に大統領選の行方を占う韓国の二大都市、ソウル、釜山の市長選挙が行われた。この選挙はいずれも、革新系与党「共に民主党」の現職が、セクハラが発覚によって自殺、辞職したため実施されたものである。結果は両市とも保守系野党「国民の力」の候補者の圧勝となった。ソウルでは「国民の力」の呉世勲氏が57.5%の得票率を記録し、また市内の25区の全てにおいて勝利した。また釜山でも「国民の力」の朴亨ジュン氏が62.7%の得票率で圧勝した。この選挙の結果は、来年の大統領選挙における与党の勝利に暗雲を投げかけるものとなった。

選挙後の4月16日、文在寅大統領は丁世均首相に代わり元行政安全部長官の金富謙氏を文政権の3人目の首相に指名した。同時に5名の閣僚を交代させた。

4月29日に世論調査会社4社が合同で行った世論調査結果によれば、大統領候補

者としては、与党所属の京畿道知事の李在明氏が 24%、保守系野党からの立候補が取りざたされている前検事総長の尹錫悦氏が 23%の支持を集めている。また文在寅大統領の支持率は 38%、不支持率は 56%という結果であった。来年の大統領選に向けて流動的な政治状況を示している。

(ERINA 調査研究部主任研究員 中島朋義)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	20年4-6月	7-9月	10-12月	21年1-3月	21年1月	2月	3月
実質国内総生産(%)	2.9	3.2	2.9	2.0	▲ 1.0	▲ 3.2	2.1	1.2	1.6	-	-	-
最終消費支出(%)	3.0	3.1	3.7	2.9	▲ 2.4	1.4	0.1	▲ 1.2	1.3	-	-	-
固定資本形成(%)	6.6	9.8	▲ 2.2	▲ 2.8	2.6	▲ 0.4	▲ 1.4	2.6	2.3	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	2.2	2.5	1.5	▲ 0.1	0.4	▲ 7.1	6.0	2.9	3.5	▲ 1.2	4.4	▲ 0.8
失業率(%)	3.7	3.7	3.8	3.8	4.0	4.2	3.8	4.1	4.4	5.4	4.0	3.9
貿易収支(百万USDドル)	116,462	113,593	110,087	79,812	81,945	9,501	26,202	30,614	-	5,734	6,047	-
輸出(百万USDドル)	511,926	580,310	626,267	556,668	516,604	108,779	132,100	146,104	-	46,662	44,708	-
輸入(百万USDドル)	395,464	466,717	516,180	476,856	434,659	99,278	105,898	115,490	-	40,928	38,661	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,160	1,130	1,101	1,166	1,180	1,220	1,188	1,116	1,115	1,099	1,112	1,131
生産者物価(%)	▲ 1.8	3.5	1.9	0.0	▲ 0.5	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 0.2	2.3	0.9	2.1	3.9
消費者物価(%)	1.0	1.9	1.5	0.4	0.5	▲ 0.1	0.6	0.4	1.1	0.6	1.1	1.5
株価指数(1980.1.4:100)	2,026	2,467	2,041	2,198	2,873	2,108	2,328	2,873	3,061	2,976	3,013	3,061

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2015年基準

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

習近平総書記が金正恩総書記に祝電

2021年1月11日発『新華社』、同月12日付『労働新聞』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党総書記に祝電を寄せた。祝電の内容は次の通り。

平壤

朝鮮労働党総書記

金正恩総書記

私は金正恩総書記が朝鮮労働党第8回大会で朝鮮労働党総書記に推戴されたといううれしい報に接し、中国共産党中央委員会を代表して、そして私自身の名で金正恩総書記と朝鮮労働党中央委員会に熱烈な祝賀を送ります。

朝鮮の社会主義の偉業を発展させていくための一連の活動を策定し、手配した朝鮮労働党第8回大会は重大な意義を持ちます。金正恩総書記が朝鮮労働党の最高指導者として再び推戴されたことは、金正恩総書記への全ての朝鮮労働党員と朝鮮人民の信頼と支持、期待を十分に示しています。

金正恩総書記を首班とする朝鮮労働党中央委員会のしっかりした指導の下、朝鮮労働党と朝鮮人民が今大会を契機に社会経済発展目標の実現するために奮闘し、朝鮮式社会主義の偉業を促すうえで新しくてさらなる成果をおさめることを確信します。

中朝両国は、山と川がつながっている友好的な社会主義の隣邦です。中朝関係を立派に守り、立派に強固にし、立派に発展させていくのは、中国の党と政府の確固不動の方針です。世界が混乱と変革の時期に入った情勢のもとでは、金正恩総書記と共に中朝両党、両国関係に対する戦略的引導を強化し、双方が遂げた一連の重要な共同認識に従って中朝親善・協力の新しいページを絶えず刻み込み、両国の社会主義偉業の発展を促し、半島問題の政治的解決方向を堅持することによって、地域の平和と安定、発展と繁栄を守り、両国と両国人民にさらなる大きな幸福をもたらす用意があります。

金正恩総書記が朝鮮の党と人民を導いて新しくてさらなる成果をおさめるとともに、活動が順調であることを願います。

中国共産党中央委員会総書記

習近平

2021年1月11日北京

金正恩朝鮮労働党金正恩総書記が習近平中国共産党中央委員会総書記に答電

2021年1月13日付『労働新聞』によれば、金正恩朝鮮労働党金正恩総書記が習近平中国共産党中央委員会総書記に答電を送った。答電の内容は次の通り。

北京

中国共産党中央委員会総書記習近平同志

私は朝鮮労働党第8回大会で自身が朝鮮労働党総書記の職務を受け持つようになったことに関連して金正恩総書記が温かくて熱烈な祝賀を送ってくれたことに深い謝意を表します。

中国共産党中央委員会が朝鮮労働党第8回大会に真っ先に祝電を送ってきたことに続いて、金正恩総書記がまたもや一番先に祝賀を送ってきたのは自分自身と朝鮮労働党の全ての党員を深く感動させました。

金正恩総書記と貴党中央委員会の心からの祈りはわれわれに大きな力、鼓舞となり、全ての党員と人民の信頼と期待に報いようとする自身の決心と意志をさらに固めさせています。

私は金正恩総書記と結んだ同志的友情をこの上なく貴重にするであろうし、両党、両国人民の利益に直結している朝中親善を強固にして発展させ、共同の偉業である社会主義の力強い前進のために努力の限りを尽くすでしょう。

中国共産党創立100周年を迎える意義深い今年に、党を強化し、社会主義現代化の実現を促すための金正恩総書記の責任ある活動でさらなる成果があることと、金正恩総書記が健康であることを心から願います。

朝鮮労働党総書記

金正恩

チュチェ 110 (2021) 年 1 月 12 日 平壤

金日成・金正日主義青年同盟中央委員会第9期第12回総会

2021年2月4日発『朝鮮中央通信』によれば、金日成・金正日主義青年同盟中央委員会第9期第12回総会が同月3日平壤で行われた。

青年同盟中央委員会委員たちと委員候補が総会に参加した。

総会では朝鮮労働党第8回大会決定を貫徹することについてと、金日成・金正日主義

青年同盟第 10 回大会を招集することに対する問題などが討議された。

第 1 の議案に対する決定書草案が本会議に提起され、参加者たちは決定書草案を真剣に研究した。討論では同盟活動に内在している欠陥とその原因、教訓が全面的に分析総括され、思想教育団体としての使命と青年組織の特性、発展する時代の要求に即応するようにすべての活動を斬新で、覇気あるように展開するための革新的な意見が提起された。第 1 の議定に対する十分な研究と参加者の積極的な討論に基づいてそれに関する決定書が全員一致で採択された。

総会では第 2 の議定を討議し、金日成・金正日主義青年同盟第 10 回大会をチュチェ 110 (2021) 年 4 月初旬に招集することを決定した。

朝鮮社会主義女性同盟中央委員会第 6 期第 10 回総会

2021 年 2 月 4 日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮社会主義女性同盟中央委員会第 6 期第 10 回総会が 3 日平壤で行われた。

朝鮮民主女性同盟中央委員会委員たちと委員候補がこれに参加した。

総会ではまず、朝鮮労働党第 8 回大会決定を貫徹するための決定書草案を提起し、深みのある研究と討論をおこなった。討論を通じて参加者は同盟活動で現れている欠陥を分析、総括したし、党大会が明らかにした闘争綱領を指針にして女性同盟を活力ある組織に強化、発展させるための新しい革新案と建設的な意見を提起した。

民主女性同盟組織の戦闘的機能と役割を強め、経済建設と人民生活向上に寄与するいろいろな大衆運動を活発に繰り広げることにについて彼女らは言及した。討論では民主女性同盟組織が女性同盟員と女性の中で帝国主義者の思想的・文化的浸透策動を粉碎して非社会主義的現象をなくすための闘争の度合いを強め、遵法教育を斬新に、方法論あるように繰り広げることにに対する問題が強調された。

討論者はこれまで収められた成果と経験、欠陥と教訓を前進と跳躍の足場にしてすべての女性同盟組織と活動家、女性同盟員が党第 8 回大会決定を貫徹するための活動に知恵と熱情を惜しみなく捧げていくことについて述べた。真摯な研究討論と活動で根本的な転換をもたらすための具体的で、正しい方法論を現実性あるものに立てたところに基づいて総会ではそれに関する決定書が採択された。

総会ではつぎに朝鮮社会主義女性同盟第 7 回大会を招集することについて討議し、決定した。

朝鮮職業総同盟中央委員会第 7 期第 10 回総会

2021 年 2 月 5 日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮職業総同盟中央委員会第 7 期第 10 回総会が同月 4 日、平壤で行われた。

同総会には、職業同盟中央委員会の委員が参加した。

総会ではまず、党大会の決定貫徹のための決定書の草案が配布され、真摯な研究、討

議に基づいて討論が行われた。討論者は敬愛する金正恩総書記を党と革命の陣頭に高くおしいたいて朝鮮式社会主義建設の新たな勝利を獲得するための闘争に総決起したすべての職盟活動家と職盟員の革命的熱意と戦闘的気象が非常に高まっていることについて言及した。彼らは党第8回大会の基本思想、基本精神に立脚してこれまで5年間職業同盟活動で収められた成果と現れた欠陥と教訓を全面的に深く分析総括した。

討論者は全同盟をわが党の革命思想と一色化するための活動を強力に展開し、新たな国家経済発展5カ年計画実行で職盟の前に任された責任と本分を全うする意志を披歴した。偉大性教育をはじめとする5大教育により大きな力を注ぐとともに多様な形式と方法で思想活動を強力に展開して、職盟移動講師をはじめとする初級宣伝活動家の政治・実務水準と役割をもっと高めることに対する問題が重要に強調された。

会議では、十分な研究と討論を経て、朝鮮労働党第8回大会が示した綱領的課題を貫徹することに関する決定書が全員賛成で採択された。

総会では、朝鮮職業総同盟第8回大会を招集することに関する問題を討議、決定した。

総会では、議案の討議に先立って、朱英吉氏を年齢上の関係で召還し、パク・インチョル氏を朝鮮職業総同盟中央委員会の委員長に選挙した。

朝鮮農業勤労者同盟中央委員会第8期第11回総会

2021年2月5日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮農業勤労者同盟中央委員会第8期第11回総会が同月4日、平壤で行われた。

農業勤労者同盟中央委員会の委員が、これに参加した。

総会では、第1の議案として朝鮮労働党第8回大会の決定を貫徹する問題を討議した。参加者は、第1の議案に対する決定書の草案を真摯（しんし）に研究したことに基づいて、農業勤労者同盟の活動に根本的な転換をもたらすための実践の方途について討論した。討論では、これまで同盟の活動で現れた欠点と教訓、その原因が分析され、時代と革命発展の要請に即して同盟の活動を革新するための建設的な意見が提起された。

各討論者は、同盟の全ての活動家と同盟員を第8回党大会の基本思想と基本精神で武装させるための宣伝・鼓舞活動を集中的に繰り広げて、全同盟が党大会の決定貫徹で沸き返るようにする意志を披歴した。農勤盟組織が党の唯一的指導体系をより徹底的に確立するための活動を生命線と捉えて、同盟内部活動に力を注ぎ、農村中核陣地を強化するうえで思想教育団体としての役割を一段と高めるであろうと彼らは述べた。

討論者は、新たな国家経済発展5カ年計画の期間に同盟の各組織が種子革命と科学農業、低収穫地での増産、新しい土地開墾を中心課題に掲げて、農業勤労者の革命的熱意を奮い立たせる大衆運動を力強く企画し、展開することで農業生産を促していくことについて強調した。

各級農勤盟組織が農業の持続的発展のための物質的・技術的土台をうち固め「新たな

勝利に向けて！」というスローガンのもとに農村特有の文化発展、朝鮮式の新しい発展を成し遂げるために積極的に奮い立つべきであろうと彼らは述べた。

彼らは農勤盟活動家が段取りをしっかりと、率先垂範の模範で同盟員を党の農業政策貫徹へ力強く奮い立たせる旗手になることについて言及した。

会議では、第 1 の議案に対する決定書が全会一致で採択された。

総会では、第 2 の議案として朝鮮農業勤労者同盟第 9 回大会を招集する問題を討議、決定した。

総会では、議案の討議に先立って金昌葉氏を年齢上の関係で召還し、ハン・ジョンヒョク氏を朝鮮農業勤労者同盟中央委員会の委員長に選挙した。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 2 回総会招集

2021 年 2 月 7 日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 2 回総会招集についての朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会決定書が同月 2 月 6 日付で出された。内容は次の通り。

朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会は朝鮮労働党第 8 回大会が打ち出した戦略的課題を貫徹するための各部門の 2021 年度活動計画を審議し、決定するために党中央委員会第 8 期第 2 回総会を 2 月上旬期間内に招集することを決定する。

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 2 回総会

2021 年 2 月 9 日、10 日、11、12 日付『労働新聞』によれば、同月 8 日～11 日、朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 2 回総会が開かれた。

第 1 日目の 2 月 8 日、金正恩朝鮮労働党総書記が、総会を指導した。

総会には、朝鮮労働党中央委員会の委員、委員候補が参加した。党中央委員会の当該部署の副部長と委員会、省、中央機関の党、行政責任活動家、道級指導的機関の責任活動家、市・郡党責任書記、重要工場、企業の党、行政責任活動家が、オブザーバーとして参加した。

金正恩総書記は会議でまず、第 8 回党大会を契機に活動家と党员、人民の覚悟と闘争の勢いが非常に高まり、わが革命が新たな発展段階へ確固と移行したと評価し、党中央委員会の総会を招集することになった基本趣旨を説明した。

金正恩総書記は、今回、全党的に党大会の文献を受け入れて集中的な学習を行う過程に、党员の政治意識と考え方で肯定的かつ明確な変化が起きていることについて分析し、党中央委員会は高揚した大衆の熱意を大事にし、いっそう高調させて党大会の決定貫徹へ力強く導かなければならないと述べ、党組織と党员に 5 カ年計画遂行の初年から実際の変化、実質的な前進をもたらせる具体化された実践の武器、革新の武器を与えるべきであると強調した。

金正恩総書記は、党大会の決定は今後 5 年間に各分野で遂行すべき中長期課題であるため、今回の総会では今年の活動計画を細部にわたって検討し、党中央委員会の決定として固着させて示達することが必要であると言及した。特に、非常防疫状況が続く中でも、経済建設を活気を帯びて行い、人民により安定して向上した生活条件を提供するための重要措置を取ろうとする党中央の決心と意志を披歴した。これとともに、現在、社会主義建設を阻害する否定的要素を徹底的に克服し、党を組織的・思想的により強固にし、党組織の戦闘的機能と役割を強める上で提起される一連の問題も真摯に研究すべきであると述べ、総会で討議する議案を提起した。

総会は、上程された議案を全会一致で可決した。

金正恩総書記が、第 8 回党大会が打ち出した 5 カ年計画の初年の課題を徹底的に遂行することに関する綱領的な報告を始めた。

報告では、各国家経済指導機関で今年の闘争目標を立てる過程に発露した消極的かつ保身主義的な傾向が辛らつに指摘され、それを克服して経済組織活動を革新的に、ち密にする上で提起される原則的問題が強調された。報告は、人民経済の部門別課題を提起し、金属工業と化学工業をキーポイントに設定したことに合わせて投資を集中して鉄鋼材と化学肥料の生産を促し、生産能力を拡大する活動を科学的保証を持って頑強に推し進めることについて具体的に言及した。これとともに、電力、石炭工業をはじめとする基幹工業部門と鉄道運輸、建設建材、軽工業、商業部門で今年に達成すべき重点目標と実践的な方途を明示した。

金正恩総書記の報告を注意深く聴きながら、会議の参加者は新たな 5 カ年計画遂行の初年の作戦から党大会の思想と精神を正しく具現できず、党と人民の高い期待に追いつけなかったことについて深刻に自責した。全ての参加者は、新しい革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向するこんにちの重大な時期に、革命の指揮メンバーとしての重い責務を全うするためにはいかに思考し、奮闘すべきかを痛感しながら、金正恩総書記の報告を注意深く聴取した。

第 2 日目の 2 月 9 日、金正恩総書記が、第 1 の議案に対する報告を続けた。

報告では、経済と文化をはじめ、複数の部門に提起される今年の課題が提示され、その遂行のために国家経済指導機関の役割を強めることに関する問題が重要に言及された。報告は、水産部門で漁労活動と養魚、養殖を積極化することで、より多くの水産物が人民に行き渡るようにすることに関する課題を提起した。報告は、通信、国土環境、都市経営部門で人民に便利で文化的な生活条件を提供するために今年実行すべき活動に触れ、対外経済部門でも国家経済を保護し、自立性を強化する見地から作成された革新的かつ合理的な方案を実行することについて強調した。

金正恩総書記は、農業をもり立てるのは人民の食糧問題、食の問題を解決し、社会主義建設を成功裏に推し進めるために、どんな代価を払ってでも必ず実を結ばせるべき国家重大事であると述べ、最近の数年間、農業部門で収められた成果と経験を分析し、そ

れを強固にして農業生産を安定的に、持続的に発展させることに関する課題を提起した。

差し当たり、今年の農業の成敗がかかっている営農物資を保障するための国家的対策を早急に立て、農業生産の物質的・技術的土台を築く活動を計画的に推し進め、農村の党活動において抜本的な改善をもたらすことに関する問題が重要に強調された。

科学技術の牽引機的役割を強めることが持つ重要性を再確認しながら報告は、現存の経済土台を強化し、人民の生活を改善、向上させる上で緊迫に提起される科学技術上の問題を優先的に解決し、中核的で戦略的な先端技術を積極的に開発し、科学研究陣、科学技術人材の集団をしっかりと組むことに特別な力を入れることについて詳細に言明した。

報告は、教育、保健医療、文学芸術、出版報道、スポーツをはじめ文化建設分野においてははっきりした改善と革新をもたらして、朝鮮式社会主義の優越性をさらに発揚させ、全社会に革命的かつ楽天的な闘争気風が満ち溢れるようにすることについて具体的に明示した。

金正恩総書記は報告で、人民軍と軍需工業部門が第8回党大会の決定貫徹のために今年遂行すべき戦闘的課題と、対南部門と対外活動部門の今後の活動方向を明白に指摘し、それを寸分の狂いもなく徹底的に実行していくことを強調した。

報告は、今年、経済活動の成果いかに国家経済指導機関の機能と役割に多くかかっていると指摘し、内閣と国家経済指導機関がその固有な経済組織者の機能と統制機能を復元して、経済全般に対する指導と管理を改善することに関する問題、非常設経済発展委員会の役割を強めることに関する問題をはじめ、内閣中心制、内閣責任制を強化するための重要な方途的問題を宣明した。

内閣と国家経済指導機関が計画の策定段階からかみ合わせをよくするとともに、経済部門間の有機的連係と協同を強化することに注目を向け、計画の規律を徹底的に立てて生産の総括を厳しくすることについてと、経済作戦と指導で行き当たりばったり式の誤った活動態度を正すことについて言明した。

これとともに、経済管理方法を研究し、実践に具現するための活動をもう一步深化させて、本質的で要の実務的対策を講じる方向へ志向させることに関する方向を提起した。

金正恩総書記は、経済活動を大胆に、革新的に展開するように党的に最後まで後押ししてやると述べ、今年の経済活動を作戦し、指揮する上で経済指導活動家の責任感と役割を決定的に高めることについて再三強調した。

党大会の決定を貫徹するための各部門の作戦の実態と態度が全面的に分析、評価され、是正対策が明確に明らかにされた金正恩総書記の報告は、今年に人民が待って喜ぶ実際の結果を必ず成し遂げようとする確固たる決心と大胆な実践的措置が反映されたことで、総会の参加者の大きな共感と熱烈な支持、賛同を受けたとのことである。

第3日目の2月10日、金正恩朝鮮労働党総書記が、第1の議案に対する報告を続けた。

金正恩総書記は第 3 日目の会議の報告で、人民経済計画の遂行を法的に確固と保証し、全党的に党活動の火力を今年の経済課題の遂行に集中することに関する重要な課題を提起した。

報告は、党の指令であり、国家の法である人民経済計画の樹立と執行の過程に対する法的監視と統制を強化することが持つ重要性を指摘し、法制部門で人民経済計画遂行のネックとなる不合理な要素を除去し、生産と建設の効率を高められるようにする新しい部門法を制定、完備することについて言明した。そして、検察機関をはじめ法律執行機関の役割を強めて、人民経済計画を正しく示達して正確に遂行するようにし、特に経済活動で現れるあらゆる違法行為との法的闘争を強力に展開していくことと、全ての部門、全ての単位がこれに絶対的に服従することについて強調した。

報告は、これまで経済活動で発露した欠点は、各党組織が党政策貫徹の組織者、旗手としての責任と役割を果たせなかったところにも原因があると分析し、今年の経済課題の遂行結果に対して全責任を持つ立場で党的指導、政策的指導を強化することに関する課題を提起した。

報告は、各級党組織が今年の戦闘目標の遂行へ大衆を力強く呼び起こす組織・政治活動を先行させるとともに、人民経済計画の遂行に対する舵取りの役割をよくする上で提起される方途的問題を指摘した。

これとともに、省、中央機関の党組織が国家の全般活動で重要な部分を受け持っている自分の単位の特性に即して党活動の水準を高めて、党の経済政策の執行を正しく掌握、指導し、政務員に対する党生活指導を深めることに関する課題を提起した。

金正恩総書記は、連続 3 日間にわたって行った第 1 の議案に対する報告を締めくくりながら、一年の活動を計画する段階から誤った部分を正し、わが人民のためのずいぶん大きな仕事を新しく確定したという意味で、そして活動家の間に内在していた消極性と保身主義をはじめ思想的病根を探して是正できるようになったという意味で、今回の総会が非常に時期適切に必要な時期に招集されたと言明した。

そして、今年の闘争計画を正確に確定するための分科別協議会を開き、党中央指導機関のメンバーと関係者が真摯な討議を経て発展指向性と力動性、牽引性、科学性が保障された革新的な目標を樹立することで、本総会が党大会の決定貫徹の進軍の歩幅を大きく踏み出し、全党员と全人民に信念と勇気をもり立てる意義ある契機になるようにしようと述べた。

総会では、第 1 の議案に対する討論がおこなわれた。金徳訓内閣総理、マ・ジョンソン化学工業相、ウ・サン Chol 中央検察所長、趙甬元党中央委員会書記が討論した。

討論者は、金正恩総書記の綱領的な報告を全的に支持、賛同し、党大会の決定貫徹のための科学的な方途を正確に探してとらえ、経済活動で実際の革新をもたらそうとする内閣の責任のある決心を披歴した。

金徳訓内閣総理は、内閣が今年の戦闘目標を朝鮮労働党の意図に合わせて設定できず、

発展指向性と力動性、牽引性、科学性に欠ける計画の数字を提出したことについて深刻に自己批判し、金正恩総書記が重ねて強調した通りに重い仕事を喜んで担い、人民の期待に報いるために奮闘すると討論した。討論者は、党が示した整備、補強戦略と自力更生を経済活動の主眼に確固ととらえて今年の経済活動計画から革新的に立て、経済管理方法を改善する上で提起される要を積極的かつ大胆に解決していくと言明した。

経済活動システムと秩序を整理、整頓し、経済活動に対する国家の統一的指導と戦略的管理を実現しながら、社会主義的企業責任管理体制を正確に実施して勤労者が経済管理の実際の主人になるようにするための現実性ある方法論を完成すると誓った。内閣は、第8回党大会が示した国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生の要求に即して人民経済の全ての部門、全ての単位で設備、資材の国産化を積極的に推し進めるようにし、金属、化学工業部門に力を集中して鉄鋼材と化学製品を十分に生産、保障できる土台を築き上げると言及した。今年から、人民経済各部門の現存の生産工程を整備、補強する活動を力強く推し進め、ひとつの成果で十を得られる対象に力を集中して、持続的な生産成長を成し遂げられる元手の一つひとつもたらすと強調した。

今年に高く立てた戦闘目標を遂行できる方途は、活動家の思想観点と活動態度から抜本的な革新を起こすところにあると述べ、内閣メンバーが並々ならぬ覚悟と責任感を持って経済活動を新しい革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向して奨励する方向へ確固と転換させると言及した。内閣の活動はすなわち党中央委員会の活動であり、第8回党大会の決定の執行は内閣の活動であると述べ、大胆に活動を展開しろと述べた金正恩総書記の教を胸深く刻み付けて奮発し、また奮発して頑強な実践で今年の経済計画を必ず遂行すると厳かに決意した。

マ・ジョンソン化学工業相討論者は、金正恩総書記が歴史的な第8回党大会の報告で国の化学工業の構造を自己の技術陣とわれわれの原料に頼る主体的工業に変えることについて重要に強調したと述べ、今年を自力更生の旗印を高く掲げて化学工業の自立的土台を強固にする決定的な転換の年に作ると言及した。また、党政策の運命が活動家の肩の上にのしかかっているということを経験し、今年の戦闘目標を遂行するための作戦案を科学的な打算に基づいて具体的に立て、活動家が課された任務をまともに遂行しなくては持ちこたえられないようにし、不断に新しいものを学び、大胆に創造していく実践家型の活動家、野戦型の活動家になるようにすると討論した。

そして、先進科学技術と人材に頼らずには今年の闘争課題の成果も、今後の展望も期待できないということを経験し、自己の技術陣をしっかりと組み、前途洋々たる人材を育成することで、C1化学工業をはじめ化学工業の全般を高い科学技術的土台の上で持続的に発展させられる確固たる保証をもたらすと強調した。さらに、化学工業の部門構造を完備するための活動を先を見通して行うことを重要な課題に掲げ、化学工業部門の工場、企業の改修、近代化方案を現実性あるものの上に立て、一つのものを建設しても人民が実際のおかげを被るようにし、50年、100年を見通す原則に立って化学工業の未来を

切り開くという決心を披歴した。

差し当たり、党中央委員会に決意した通りに窒素肥料の生産能力拡張工事と炭酸ソーダ生産工程の改造を力強く推し進めて今年中に無条件に終わるとともに、人民経済計画を遂行するための経済組織活動を綿密に行って各肥料工場で営農用窒素肥料の供給計画を期日内に遂行し、重要化学製品を円滑に生産、保障すると言明した。討論者は、化学工業は経済発展の要であり、人民生活向上の命脈であると述べた金正恩総書記の懇切な教えを心に深く刻み付けて、党と人民に対して担った重大な任務を責任をもって遂行することで、わが人民が化学工業のおかげを必ず被るようにするという固い決意を固めた。

ウ・サン Chol 中央検察所長は、金正恩総書記が第 8 回党大会で打ち出した綱領的課題を体して、新たな 5 年計画の遂行を法的にしっかり保証することに総力を集中する決意を披歴した。全ての部門、全ての企業体が党の経済政策を徹底的に執行するように法的対策を立てると述べ、内閣の主導的役割にブレーキをかける一切の行為を徹底的に制御、制圧し、金属、化学、電力、石炭工業部門をはじめ重要工業部門を整備、補強するのにネックとなるあらゆる要素を探して強く対策を立て、関連単位が連帯生産品の生産、保障を責任をもってしなくては持ちこたえられないように法的統制を強化すると言明した。

特に、特殊の垣根を巡らして法の統制外で社会主義的経済管理秩序に乱暴に違反する単位に対する法的監視を攻撃的かつ連続的に厳しく行うとともに、経済部門の活動家が社会主義の原則を良心的に守り、党の経済政策を心から支えていくように順法教育を強化して、国家経済管理システムと秩序を侵害する違法要素を未然に防止すると強調した。

彼は、法的統制を党的、階級的原则に立って行えないなら、党の経済政策が徹底的に執行されないし、あらゆる否定的傾向が横行するようになり、党の経済政策執行いかんは検察活動家がいかに法的統制を行うかにもかかっているということを銘記し、違法行為を黙認し、助長させる傾向が現れないようにすると討論した。

法律執行の活動家が敗北主義に陥って党の経済政策執行を怠る傾向に同調したり、妥協、譲歩したりする傾向を徹底的に排撃し、党の経済政策の堅実な擁護者、徹底的な守護者らしく闘争の度合いを強めると言及した。討論者は、検察機関内の全ての活動家が金正恩総書記が提示した戦闘的課題を至上の命令と受け止めて国家経済発展 5 年計画を成功裏に遂行し、社会主義経済制度をしっかり守るための法的統制を力強く展開して党と革命、祖国と人民に対して担った聖なる使命と任務を果たしていくことを固く誓った。

趙甬元党中央委員会書記は、まず、第 8 回党大会の思想と精神に限りなく励まされた活動家と党員と勤労者を党大会の決定貫徹へ奮い立たせるための各級党組織の活動状況を概括し、その反面、一部の活動家の間で現れている深刻な欠点について言明した。代表的に、軽工業部門で条件のせいにして一般消費財の生産計画を全般的に低めた問題、

建設部門で党中央が首都市民と約束した今年の 1 万世帯の住宅建設目標をあえて低めた問題、電力工業部門で経済建設と人民生活の切実な要求に顔を背けて電力生産計画を人為的に引き下げた問題、水産部門で漁労活動を積極化して人民に魚を送ってやる段取りもしない問題などに触れ、このように主要計画指標を嘆かわしく設定したことに責任のある党中央委員会と政府の活動家を辛辣に批判した。

現れた欠点は、活動家が極度の消極性と保身主義にとらわれて党大会の決定も、人民に対してした誓約もためらわずに破っていることを示しており、これは絶対に黙過できない金正恩総書記の思想と意図に反対し出た反党的、反人民的行為に見なすべきだと強く追及した。各党組織は、金正恩総書記の指導思想を正確に受け止めず、受け持った仕事に怠慢な活動家、地位維持だけをしながら前進と革新に阻害を及ぼす活動家を絶対に傍観視しないであろうし、問題を厳しく取り上げると言明した。

各党組織が革命に対する忠実性を基本尺度にして全ての人々を正確に評価し、幹部との活動、党員との活動、大衆との活動を画期的に改善し、特に党大会の決定貫徹と今年の活動で重要な分を受け持っている活動家が実績をあげるように要求の度合いを強めると述べた。

そして、全ての党組織が党決定の貫徹のための組織・政治活動を実質的に行い、行政・経済部門の活動家の活動を積極的に後押しして斬新な大衆工作方法で大衆の勢いをいっそう高揚させると言及した。

討論者は、こんにちの激動的な時代に合わせて全ての単位が革命的に活動し、沸き返るように党の指導を不断に強め、金正恩総書記が構想して意図する全ての問題が最も正確かつ完璧に実行されるように総力をあげると総会で決意した。

総会は、各部門別に今年遂行すべき課題を具体的に討議して、決定書の草案を作成するための協議会に移った。党中央指導機関のメンバーは、国家経済の土台を打ち固め、われわれの革命を新しい跳躍期へ移行させるための革新的な活動計画を確定するために関係部門の活動家と共に討議を深めた。

総会では、第 1 議案に対する決定書の草案を作成するための分科別協議会があった。工業、農業、軽工業、建設分科に分けられて行われた各協議会では、金正恩総書記が行った報告の内容を深く研究し、それに立脚して各部門の今年の活動計画を立てるための討議を深めた。自らの部門の活動を革新するための真摯な思索と努力によって、新しい予備と可能性が積極的に探究され、創意的かつ建設的な意見が提起されたことで、初期に提出された目標が全般的に更新された。

工業分科協議会は趙甬元党中央委員会書記と金徳訓内閣総理を指導した。同協議会では、総会で行った金正恩総書記の綱領的な報告を深く研究、学習したことに基づいて、今年に各工業部門で達成すべき戦闘目標が上程され、討議が深められた。金属工業部門で現行の鉄生産を正常化しながら新しい生産能力を造成することに力を集中し、化学工業の自立性と技術力を高め、電力、石炭、機械、採取工業をはじめとする基幹工業部門

と鉄道運輸部門で相互協同と有機的連係を強化して、確固たる生産成長を成し遂げるための建設的な意見が提起された。

農業分科協議会は、党中央委員会部長の金才竜、李哲萬の両氏と、チュ・ Cholギョ内閣副総理兼農業相が指導した。協議会で参加者は、穀物増産の安定的で持続的な発展の基盤を打ち固めることに関する金正恩総書記の思想と意図を深く刻み付けて、農業の企画を先を見通して行って今年の穀物生産目標を無条件達成するための具体的な問題を深く論議した。いかなる災害性気候の中でも、農業生産を安全に保障できる科学技術上の対策を立て、穀物栽培面積を増やし、畜産と野菜、果樹栽培、工芸部門にも力を入れて、人民の食生活を向上させることに関する方途的問題が重要に討議された。

軽工業分科協議会は、崔竜海最高人民会議常任委員会委員長と朴泰成党中央委員会書記、朴明順党中央委員会部長、リ・ソンハク内閣副総理同志が指導した。

同協議会では、人民の食衣住問題を解決する上で大きな分を占める軽工業部門が大いに奮発して新しい出発をすることに関する金正恩総書記の崇高な志を深く刻み付けて、原料、資材の国産化比重を画期的に高めるための対策的問題を真摯に討議した。紡織、メリヤス、製靴工業をはじめ軽工業部門で設備の元の性能を回復して新しい生産能力を造成し、地方産業をもり立てて人民の生活に切実に必要な消費財を責任をもって生産、保障するための指標別計画と遂行方途が具体的に協議された。

総会では、分科別協議会で決定書草案の作成過程に提起された補充意見をまとめた報告があった。分科別協議会を通じて作成された決定書の草案は、党大会が示した戦略的課題と方針が正確に具現され、今年の各部門別活動方向と戦闘目標の科学性と現実性、動員性が十分に反映されたものに認められた。

総会は、第1の議案に対する決定書「第8回党大会が示した5カ年計画の初年の課題を貫徹することについて」を全会一致で採択した。

総会は、第2の議案「全社会的に反社会主義、非社会主義との闘いをより度合い強く繰り広げることについて」を討議した。

金正恩総書記が、第2の議案に対する報告を行った。

金正恩総書記は報告で、新しい発展段階に入っているわれわれの革命は反社会主義的・非社会主義的傾向との闘いをいつにもまして強化していくことを求めていると強調し、われわれの思想と制度を脅かし、一心団結を阻害する悪性腫瘍を断固と手術してしまう革命的意志と決心を宣明した。

報告では、党組織と勤労者団体組織、政権機関と法律執行機関で反社会主義、非社会主義との闘いを強力に展開することに関する課題が提起された。中央から道・市・郡に至るまで強力な連合指揮部を組織して反社会主義、非社会主義との闘いを一律に統一的に掌握し、集中的かつ多角的に強力に展開することが言及された。特に、党組織が活動家の間で現れる権勢と官僚主義、不正腐敗行為を克服するための作戦を強力に展開するとともに、反社会主義的・非社会主義的行為を庇護、助長させる対象を活動家の陣容か

ら断固と除去することが強調された。

経済管理問題を早急に解決することをわが国家の社会主義的性格を固守し、反社会主義的・非社会主義的傾向を根絶するためのきわめて重要な課題に掲げて、一つひとつきちんと決断力を持って解決していかなければならない。金正恩総書記は報告で、全ての活動家が反社会主義、非社会主義との闘いを低調に、言葉だけで行ってはいつになってもそれを終息させられず、その代価を自分自身とわが人民が高価に支払うことになるということを銘記すべきだと述べ、祖国と人民、次代の運命をかけて自分の部門、自分の単位で現れる反社会主義的・非社会主義的行為を無慈悲に抑止、掃滅し、朝鮮式社会主義を強固にして発展させるための闘いで自分の責任と本分を全うしていくことを強調した。

総会は、第2議案に対する決定書「全社会的に反社会主義、非社会主義との闘いをより度合い強く繰り広げることについて」を全会一致で採択した。

総会は、第3議案「党中央委員会のスローガン集を修正することについて」を討議した。党中央委員会のスローガン集は、党の戦略的かつ政策的なスローガンが集大成された政治文書として、全党と全人民を党の周りにしっかりと結束させ、チュチェの革命偉業の遂行へ鼓舞、激励する上で重要な役割を果たしている。党の権威と指導力が非常に強化され、社会主義建設が深化、発展している現実には、党中央委員会のスローガン集の政治的性格と品位を全面的に保障することを求めている。

党中央委員会のスローガン集の修正に関する報告があった。総会は、党中央委員会のスローガン集が朝鮮労働党が恒久的に掲げるべき路線と戦略・戦術、政治理念を集約的に反映した政治的なスローガンに修正されることで、領袖の思想と不滅の革命業績、絶対的な権威を擁護し、わが党の革命的な性格を固守し、社会主義偉業を勝利のうちに前進させていく思想的武器としての使命を果たすようになると認めながら、修正したスローガン集を党中央委員会のスローガン集にすることに関する決定を採択した。

総会は、第4議案「『朝鮮労働党規約解説』の審議について」を討議した。

朝鮮労働党金正恩総書記が、「朝鮮労働党規約解説」を総会で審議するようになった趣旨について述べた。金正恩総書記は、第8回党大会は革命発展の要求に即して党規約の一部の内容を修正、補足したと強調し、党規約の解説集を立派に作るのは党を組織的・思想的に強固にし、党組織の戦闘的機能と役割を強め、党員の党生活を強化する上で非常に重要な意義を持つと述べた。

金正恩総書記は、党規約解説集は当然、党大会と党大会の間に党の全ての活動を組織、指導する党中央委員会の総会で決定されなければならないと言及し、今回党規約解説集を審議して下部に送れば各級党組織と党員がそれを深く研究し、全ての党活動と党生活を党規約上の規範の要求通りにのみすることを強調した。

総会は、党中央指導機関のメンバーが十分な事前研究を行ったことに基づいて、党規約解説集の草案を朝鮮労働党規約解説集にすることに関する決定を採択した。

総会は、第 5 議案「組織問題」を審議した。

党中央委員会政治局委員、委員候補を召還および補欠選挙した。

李善権氏を党中央委員会政治局委員に補欠選挙した。金成男氏を党中央委員会政治局委員候補に補欠選挙した。

会議では、党中央委員会書記を選挙した。

呉秀容氏を党中央委員会書記兼経済部長に選挙した。

党中央委員会委員、委員候補を召還および補欠選挙した。

キム・ドンイル、キム・ヨンナム、キム・チョルス各氏を党中央委員会委員候補から委員に補欠選挙した。ホン・ヒョクチョル、リ・ギョンホ、チェ・ヨンジン、リョン・グンチョル、チョン・ソチョルの各氏を党中央委員会委員候補に補欠選挙した。

金正恩総書記が、総会を締めくくった。金正恩総書記は、党中央委員会第 8 期第 2 回総会は上程された全ての議案に対する討議を成功裏に終えたと述べ、去る 4 日間、毎日、瞬間瞬間、指導機関のメンバーが緊張して動員された状態で党と国家の活動の討議に真摯に参加したことについてありがたく思っているが、これは自分の人民に立てた誓約を厳かに、徹底的に履行して、時代と革命が付与した重い任務を果たそうとする意志の発現であり、表出であると述べた。

金正恩総書記は、本総会で討議された一つひとつの議題はわれわれの革命事業と党の強化、発展において特別な意義を持つと述べ、今回重要で差し迫ったわれわれの当面課題に対する明白な認識を共有し、明確な方向を確定したと語った。また、社会主義制度の存立と発展を阻害する内部の否定的要素を制圧、掃滅するための強力な政策的武器と全党を武装させて奮い立たせられる政治的手段がもたらされたと言及した。

金正恩総書記は、今回の総会を通じてわが党中央委員会は問題解決の出路を正しく探し、そこに全てを服従、志向させていく自分の指導力をいっそう洗練させて貴重な経験を積むことになったと述べた。そして、第 8 回党大会を大事にするわが人民に党大会が決定した変革的課題を必ず現実に転換させようとする第 8 期党中央委員会の強い意志を具体的な実践計画で示したところにも意義があると評価した。

金正恩総書記は、われわれがもうひとつの必須の自己発展の立派な工程を踏み出しただけに、党中央委員会は決定した課題に対する正確な指導と徹底的な執行によって、革命事業を前進させ、人民が変わった実状を感じられるようにすべきであると述べた。

金正恩総書記は、全ての部門、全ての単位の活動家が今年の活動で非常防疫事業の完璧さを保障することが重要な課題の中の第 1 順位であることを銘記し、防疫活動において厳しく徹底すべきであり、全ての状況に迅速に対処しなければならないと強調し、国家非常防疫司令部が最大の緊張性と警戒心を堅持し、全国に強い防疫規律を確立するための新しい措置を講じた。

金正恩総書記は、わが人民のより裕福で幸せな生活と国家経済の整備、補強、自立的発展を力強く促すために、党中央が以前から先を見通して準備してきたことに言及し、

今回の総会をきっかけに経済幹部の活動態度と働きぶりにおいて実際の変化が起きることを期待すると述べ、新たな 5 年計画の遂行を裏付けられる画期的な対策を立てた。

金正恩総書記は、全ての党中央指導機関のメンバーが総会の決定を生命のように大事にし、党の決定が無条件徹底的に執行されるように全力を尽くさなければならない、愛する自分の人民にわれわれの衷情に対して検閲を受ける時になったと述べて、全ての同志たちがもっと努力し、奮闘してわが党の雄大な闘争綱領を実践するための革命にこぞって奮い立つことをお願いすると切々と語った。

国家科学院恩情養豚場竣工

2021 年 2 月 16 日発『朝鮮中央通信』によれば、国家科学院養豚場が新たに建設され、竣工した。同工場は省力化、省エネ化、敷地節約化の方針の下、国産の設備で整備されたとのことである。同月 15 日、朝鮮労働党中央委員会崔相建書記と国家科学院金承進院長ほか関係者が養豚場を視察した。

朝鮮労働党中央軍事委員会第 8 期第 1 回拡大会議

2021 年 2 月 25 日付『労働新聞』によれば、同月 24 日、朝鮮労働党中央軍事委員会第 8 期第 1 回拡大会議が党中央委員会の本部庁舎で行われた。

金正恩朝鮮労働党総書記兼朝鮮民主主義人民共和国国務委員長が、党中央軍事委員会第 8 期第 1 回拡大会議を指導した。拡大会議には、朝鮮労働党中央軍事委員会の李炳哲副委員長と委員が参加した。また、朝鮮人民軍軍種および軍団級単位の指揮メンバーと人民軍党委員会の執行委員、一部の武力機関の指揮官、党中央委員会の当該部署の副部長が参加した。

朝鮮労働党中央軍事委員会第 8 期第 1 回拡大会議では、人民軍指揮メンバーの軍事・政治活動と道徳生活において提起される一連の欠点を指摘し、人民軍内に革命的な道徳規律を確立するための問題が主に討議された。

金正恩総書記は同会議で、人民軍内に革命的な道徳規律を確立するのは単なる実務的問題ではなく、人民軍の存亡と軍建設と軍事活動の成敗に関わる運命的な問題であると述べ、この重大な問題の解決のためには何よりも新世代の人民軍指揮メンバーの政治意識と道徳観点を確立するための教育と統制を強化すべきであると語った。

会議では、人民軍内の全ての党組織と政治機関が革命規律と道徳気風を立てることを現時期、党中央の用兵体系を確立し、戦闘力を強化するとともに、革命軍隊の気高い精神的・道徳的優越性を発揚するための主な課題に掲げて度合い強く繰り返すことについて強調された。

会議では次に、武力機関の主要職制指揮メンバーの解任および任命に関する組織問題が取り扱われた。

朝鮮労働党中央軍事委員会は、キム・ソングル氏を朝鮮人民軍海軍司令官に任命し、海軍中將の軍事称号を授与した。キム・チュンイル氏を朝鮮人民軍航空・対空軍司令官に任命し、航空軍中將の軍事称号を授与した。

会議ではまた、主要指揮メンバーの軍事称号の昇格に関する決定を採択した。

朝鮮労働党中央軍事委員会の決定に従って、朝鮮民主主義人民共和国の金正官国防相と朝鮮人民軍のクォン・ヨンジン総政治局長に朝鮮人民軍次帥称号が授与された。

朝鮮労働党中央軍事委員会委員長命令

2021年2月25日発『朝鮮中央通信』によれば、指揮メンバーの軍事称号を昇格させることについての朝鮮労働党中央軍事委員会委員長命令が出された。内容は次の通り。

朝鮮労働党中央軍事委員会は主要指揮メンバーの軍事称号を次のように昇格させることを命令する。

△中將

チュ・ドンチョル、コ・ウォンナム、キム・ヨンムン、キム・チュンソン、チャン・スンモ

△少將

リ・ミョンホ、キム・チョルジュ、チョン・ボンチャン、シン・ジョンナム、チェ・デウン、リ・ドゥイル、チョン・ウンチョル、カン・チョルリョン、カン・ギョンホ、パク・ジェヨン、ハン・ジョンシク、チョン・ヨンチョル、ファン・ソンチョル、ソン・ヨンセ、シン・ジェヨン、オ・ヨンス、キム・ジンウク、チョン・ミョンハク、チュ・チョルジン、リ・ミョンホ、リ・インス、パク・テイ、ソ・チャンホ、チェ・インチョル、リム・ハク、キム・ミョンイル、ハン・ジョンチョル

朝鮮労働党中央軍事委員会委員長

金正恩

内閣総会拡大会議

2021年2月26日発『朝鮮中央通信』によれば、同月25日、内閣総会拡大会議が25日、テレビ会議の方式で行われた。

金徳訓内閣総理が会議を指導した。パク・ジョンゲン内閣副総理、チョン・ヒョンチョル内閣副総理をはじめとする内閣のメンバーが参加した。内閣の直属機関、省機関の活動家、道・市・郡人民委員会委員長、農業指導機関、重要工場、企業の活動家が傍聴した。

内閣総会拡大会議では、「朝鮮労働党第8回大会と党中央委員会第8期第2回総会の決定を貫徹することについて」を討議した。

報告をパク・ジョングン内閣副総理兼国家計画委員会委員長が行った。報告は、内閣と国家経済指導機関で党大会決定貫徹のための今年の人民経済計画の作成過程に消極的でことなかれ主義的な傾向を発露させた原因を分析、総括した。報告は、今年の経済活動の中心に立脚して経済作戦を目的指向性をもって行い、人民経済計画を無条件に遂行するための対策的問題を提起した。省、中央機関と道・市・郡人民委員会、企業が内閣責任制、内閣中心制の要求に即して経済活動に対する国家の統一的指導システムを確立し、自分の任務と権限、活動限界を明白にして活動する制度と秩序を立てることに關する問題が重要に強調された。

5 年計画の期間に達成すべき各部門の科学技術発展目標を戦略的集中性の原則に基づいて現実性あるものに立て、その遂行を頑強に推し進め、科学技術の威力で生産正常化と改修・近代化、原料、資材の国産化、リサイクリングを積極的に実現することについて言及された。客観的経済法則の要求に即して活動家が経済管理を改善する上で提起される方法論的問題に対する研究を深化させ、実践で提起される偏向を適時に正すことについて指摘した。

国家の法と人民の利益を侵害する単位特殊化と本位主義に終止符を打つための闘争を度合い強く展開していくべきであると強調した。

報告では、変化する現実と生産力発展水準、科学技術の発展に応じた計画化方法を絶えず完成し、企業が生産と経営活動を独自の、主動的に行いながら創意性を最大限に発揮し、環境の変化に機敏に対応できるように経済的条件と法律的环境を保障するための対策をより強力に立てるべきだという課題が提起された。

報告者は、経済幹部が今年の戦闘目標を遂行できる方途は自分らの闘争気風と活動態度に革命的な改善をもたらすところにあるということをも銘記し、経済活動において革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向し、奨励することを強調した。

会議では、キム・グァンナム金策製鉄連合企業所支配人、マ・ジョンソン化学工業相、リ・ソンハク内閣副総理、チェ・リョンギル国家計画委員会副委員長、チュ・ Cholギョ内閣副総理兼農業相が討論した。

各討論では、第8回党大会が示した自分の部門、自分の単位の5年計画期間の目標と党中央委員会第8期第2回総会の課題貫徹のための方途的問題が具体的に言及された。各討論者は、党と人民の大いなる信頼と期待を瞬間も忘れず、優れた活動能力と熱情、献身性を発揮して今年の目標遂行において変革的成果を収めていく決意を表明した。

会議では、金属工業と化学工業部門の工場、企業に必要な労力、設備、資材、資金を集中的に供給し、国内の燃料で鉄鋼材を生産するための技術的問題を解決し、社会主義企業責任管理制の要求に即して経営管理、企業管理を改善することに関する問題が討議された。

科学研究部門との緊密な連携の下で自らの技術力量を強化する活動を強く推し進め、原料、資材を国産化するための年次別計画を確定した。

生産と経営活動に支障をきたしている要因を調べて対策を立て、全ての企業が生産を正常化することのできる現実的な方法を研究、導入するための方案が討議された。遊休資材と副産物、廃棄物をリサイクルし、代替原料を積極的に利用して一般消費財の生産を増やし、人民経済の全ての部門と企業の生産的・消費的連携を強めることが強調された。

協同農場の生産土台を築くための活動に中心を据えて経営管理方法を画期的に改善し、灌漑施設と農地を復旧することをはじめ農業生産計画を無条件に遂行する上で提起される実践的問題も協議された。

会議は、内閣が国の経済司令部としての役割を果たし、全ての経済幹部が社会主義经济管理改善と科学技術発展の促進を新たな5カ年計画遂行の根本方途とし、経済建設と人民の生活向上のための闘いで責任と本分を全うしていくことについて強調した。

総会拡大会議では、真摯な討議に基づいて内閣決定「朝鮮労働党第8回大会が示した国家経済発展5カ年計画を徹底的に遂行することについて」と「朝鮮労働党中央委員会第8期第2回総会で提示された綱領的課題を貫徹することについて」が全員賛成で採択された。

咸鏡北道清津市に新型のトロリーバス

2021年2月26日付『労働新聞』によれば、咸鏡北道で新たに造ったトロリーバスが今、清津市の街を軽快に走っている。道党委員会では人民の生活上の便宜を図る活動を重且つ大なる問題と推し、清津市の交通問題解決に深い関心を払った。道の幹部は清津バス工場の物質的・技術的土台を強め、トロリーバス生産に必要な設備と資材を優先的に保障するための対策を追随させた。特に人民の便宜を最優先、絶対視する原則でトロリーバスの形は言うまでもなく、装備品も高い質的水準で完成するように積極的に後押しした。

大安親善ガラス工場と城川江電機工場をはじめとする関連単位で責任をもって設備と資材を保障した。清津工業大学の教師、研究者も生産現場に来て工場の技術者と一つになって技術上の問題を解決した。新型のトロリーバスは人民の交通上の便宜を保障し、清津市の街を軽快に走っているとのことである。

リニューアルされた新浦魚類缶詰工場竣工

2021年3月1日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道新浦市にある新浦魚類缶詰工場のリニューアル工事が終了した。同年2月28日、ソン・チュンソプ水産相ら関係部門の活動家らが更新工事が完了した工場を視察した。

平安南道養老院が完成

2021年3月1日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道平原郡龍二里に平安南道養

老院が建設された。同月 28 日には、平安南道党員会アン・グム Chol 責任書記、道人民委員会姜亨奉委員長が現地を視察した。

慈江道江界市に慈江道芸術劇場竣工

2021 年 3 月 3 日付『労働新聞』によれば、慈江道江界市に慈江道芸術劇場が建設され、竣工した。同劇場は、江界市の中心に流れる将子江のふもとに建てられ、1500 余席の観覧ホールとエントランスなどを有しており、化粧室と創作室、部門別レッスン室、便宜施設が芸術家の創作活動のために備っているとのことである。

同月 2 日に行われた竣工式にはリ・ヒョングン慈江道人民委員会委員長、関係者、道芸術団芸術家、劇場従業員、建設者、江界市内の勤労者が参加した。

竣工の辞をリ・ヒョングン委員長が述べた。この中で、重機械手段が集中される中で青年突撃隊員が土砂を短期間に処理し、膨大なコンクリート打込をやり遂げることによって骨組工事を日程より早めて終えたことについて言及した。また、建設者は大胆で、創造的な施工法を取り入れて大型トラス架設と設置、内モルタル塗り、石貼り付けなどを諸期日に完成し、関連単位研究者、技術者と協力して舞台の自動制御系を実現したし、観覧ホールの照明、音響条件を十分に保障したと彼は述べた。

3 月 2 日は北朝鮮の植樹の日

2021 年 3 月 4 日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮では 3 月 2 日が植樹の日で、この日を迎え、春期の植樹が全国的に始まり、一日で百数十万株の木が植えられたとのことである。

第一回市、郡党責任書記講習会

2021 年 3 月 4 日、5、6、7 日付『労働新聞』によれば、第 1 回市、郡党責任書記講習会が同月 3 日～6 日、朝鮮労働党中央委員会本部会議室で開かれた。

同講習会には、全国の市・郡党責任書記と各道党責任書記、道党委員会の当該部署の活動家が参加した。また、党中央委員会の各書記と当該部署の部長、第 1 副部長、そして地方党の活動に関わる活動家が参加した。

金正恩総書記が、開講の辞を述べた。

金正恩総書記は開講の辞で、社会主義建設の各部門を新たな発展段階へ移行させ、全国の均衡的同時発展を促すうえで市・郡党の活動を革新することが持つ意義を特別に重視して、第 8 回党大会と党中央委員会第 8 期第 2 回総会の思想が手配された以後、真っ先に市・郡党責任書記のための講習会を催したことに言及した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党政政策の末端指導単位、実行単位であり、農村経営と地方経済を指導する地域的拠点であり、国の全般的発展を支える強力なとりでである市・郡の重要性と市・郡党委員会が占める位置について指摘した。新しい局面を迎えた北朝鮮

の社会主義建設は市・郡の強化、発展を本格的に推し進める強力な牽引力を早急にもたらしことを求めていると述べ、市・郡党組織が自分の地域の発展を導いていく上で党中央の派遣員である市・郡党責任書記の役割が大変重要であると語った。市・郡党責任書記は社会主義建設の地域的拠点を受け持っている朝鮮労働党の中核であり、人民と最も近くに居ながら彼らを見守る重い責任を担った野戦政治活動家であると述べ、市・郡党責任書記が革命的な政治意識を持って活動において根本的な変化を起こしてこそ、党大会の決定を貫徹し、朝鮮式社会主義が急速に前進、発展することができると強調した。

金正恩総書記は、第8回党大会が全国の市・郡を自立的に、多角的に発展させられる重要な政策的方向を明らかにしただけに、いまや全てが責任書記の奮発力と役割にかかっていると述べ、党中央は現在の状況で市・郡党責任書記の実務水準を高め、活動作風を改善することから市・郡発展の新しい転換点をもたらすことを決心し、今回の講習会を手間を掛けて特別に準備したと語った。

金正恩総書記は、今回の講習を通じて市・郡党責任書記が党中央委員会の前で自分の活動状況を全面的に総括し、市・郡強化の重要性と政策的要求に対する正しい認識を持って優れた経験を交換、共有しながら自分の市・郡をもり立てる明確な方途を探すために、積極的に、責任をもって誠実に学習すべきであると述べた。市・郡党責任書記が党と国家の重要な戦略的砦、拠点を守っている重大な任務と責任感を深く自覚し、どうすれば自分の地域を社会主義理想郷につくって人民の要求と大きな期待に報いるか、どうすれば党と国家を鉄壁で擁護する鋼鉄の城塞、頑丈な礎石になるようにするかを真摯に研究すべきであると述べた。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が自分の地域を導いていける政治的・実務的資質と能力を実質的に固める見地から、人民大衆第一主義を具現したチュチュエの党活動の原理と方法を深く体得し、市・郡党の活動において画期的転換をもたらすための方法論を一つひとつ刻み付けるべきだと強調した。今回の講習会が第8回党大会の決定貫徹のための初の部門別会議として、党中央の構想と意図に即して市・郡党責任書記の思想観点と活動スタイル、実務水準と精神的・道徳的風貌を根本的に革新し、市・郡強化、発展の新しい転換点をもたらす重要な契機になるとの確信を表明し、第1回市・郡党責任書記講習会の開講を宣言した。

講習会では、市・郡党責任書記の近年の党活動状況を全面的に分析し、収められた成果と経験、現れた欠点と原因を総括し、実際の改善対策を立てるための会議が行われた。

朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員で党中央委員会の組織書記である趙甬元書記が、市・郡党責任書記が党活動に力を入れて党の市・郡強化路線と政策を貫徹していくことに関する報告を提起した。組織書記は、わが党が革命発展の各時期に市・郡の強化、発展のために打ち出した重要な思想・理論と政策、その偉大な生命力に触れ、党中央の意図を体して市・郡の発展においてはっきりした成果をおさめている責任書記らの経験を紹介した。報告では、現時期一部の市・郡党責任書記と市・郡党委員会の活

動で現れている欠点が解剖学的に分析された。党内活動を軽視し、行政・経済活動に対する党的指導、政策的指導を正しく行っていない欠点とわが党の人民大衆第一主義政治を正しく具現していない偏向が辛辣に批判された。現在の実態は、党内活動、対人活動に手間をかけず、行政・経済活動にだけ偏って革命的党風を堅持しないなら、わが党活動が真に党と革命隊伍を全一体に固めて革命の前進速度を加速させる生きた党活動、革命的な指導になり得ないということを示すと組織書記は指摘した。

報告は、市・郡党委員会が時代と革命発展の要求に即して自分の地域の発展を導いていく強力な牽引機となり、市・郡の主婦となって党の市、郡強化路線と政策を貫徹していくことを強調した。

組織書記は、全ての市・郡党責任書記が党中央の地域的補佐官らしく活動家と党員と勤労者を第8回党大会と党中央委員会第8期第2回総会の決定貫徹のための闘いへ力強く奮い立たせる上で受け持っている責任と本分を全うしていこうと呼び掛けた。

会議では、党中央委員会が市・郡党委員会の党政策実行状況について評価した全国的な市・郡別順位が発表された。

同月4日、朝鮮労働党総書記である金正恩総書記が、講習会を指導した。

会議で行われた討論では、リ・ハンゴル（黄海北道）燕灘郡党責任書記、コ・ジュグァン（咸鏡北道）会寧市党責任書記、ボン・ソングォン（平壤市）兄弟山区域党責任書記、リ・ビョングッ（慈江道）熙川市党責任書記、リ・ヨンサン（咸鏡南道）長津郡党責任書記、リ・ギョンチョル（江原道）伊川郡党責任書記、シン・ミョンソン（平安北道）雲山郡党責任書記が、党活動と市・郡の経済活動、人民の生活向上と教育事業の発展において収めた成果と経験について述べた。

討論に参加した各責任書記は、わが人民の心に大事に刻み付けられた党への忠誠心を強く発揚させ、党活動に人民大衆第一主義を積極的に具現するなら、いかなる不利な条件と環境の中でも大衆の底知れない力と知恵で困難と難関、立ち遅れを払拭して市・郡の発展においてははっきりした転変をもたらすことができると語った。

ファン・ヨンチョル（黄海南道）殷栗郡党責任書記、オ・ドクチョル（江原道）文川市党責任書記、キム・ミョンイル（清津市）水南区域党責任書記、アン・ミョンシク（平安南道）大同郡党責任書記、キム・ジンサム（黄海北道）黄州郡党責任書記、シン・ミョンス（両江道）恵山市党責任書記、カン・ミョンホ（平壤市）船橋区域党責任書記、リ・グクソン（咸鏡南道）耀徳郡党責任書記、キム・スンイル（黄海北道）新溪郡党責任書記、パク・イルナム（清津市）新岩区域党責任書記、ペク・グァンチョル（江原道）平康郡党責任書記、ハン・チョル（両江道）普天郡党責任書記、カン・ホヨン（黄海南道）青丹郡党責任書記、ホ・ミョンチョル（平安南道）孟山郡党責任書記は、これまでの自分の活動と市・郡党委員会の活動で発露した欠点と偏向を批判的見地から分析した。

各討論者は、党内活動、対人活動を疎かにして行政実務的に活動した問題、基層党組織を強化するための活動を形式的に行った問題、行政・経済活動に対する党的指導を正

しくせず、ほらを吹いて市・郡の暮らしをもり立てられずにいる問題、人民への無条件的な奉仕精神に欠けて人民の生活を改善できずにいる問題、労働党の活動家らしい精神的・道徳的風貌を備えられずにいる問題などを克服し、党活動を画期的に革新しようとする決意を披歴した。

会議では、市・郡党活動を責任をもって行わなくて重大な欠点を発露させた活動家に対する鋭い批判が行われた。討論と批判を通じて参加者は、党中央の要求と党的原則から脱線すれば、どんなに重大な結果を招くかを骨身に染みるほど自覚し、自分の活動に内在している欠点を深刻に反省して、その克服方途について深く研究した。

金正恩総書記が、綱領的な結語を述べた。

金正恩総書記は結語で、現時期、市・郡党委員会の活動を改善するのは全党を強固にし、その指導的機能と役割を向上させ、市・郡の発展を促す上でいっそう重要な問題に提起されていると述べ、全国各市・郡党委員会が自分の使命と役割を円滑に遂行してこそ、党と国家の全般活動がスムーズに運ばれ、朝鮮式社会主義の全面的発展が促進されると強調した。党中央委員会がわが革命の最高参謀部なら、市・郡党委員会は当該地域の全ての活動を策定、指導する政治的参謀部であり、このように重要な位置を占めている市・郡党委員会の活動の成果いかんは全的に、市・郡党責任書記の能力と活動にかかっていると述べた。

金正恩総書記は、党活動の強化と市・郡の発展において責任書記の役割を強めるための重要な課題と方途を示した。金正恩総書記は、何よりも党内活動に力を入れてわれわれの革命陣地、階級的基盤をうち固めることを強調した。党内活動は、党を組織的・思想的に強化し、活動家と党員を党と革命に忠実な闘士に準備させ、全人民を党の周りに固く結集させて党政策の貫徹へ力強く呼び起こすための党活動の重要な部分であると述べ、市・郡党責任書記が何事にぶつかっても党内活動を鉄則に、主眼にとらえるべきだと語った。

金正恩総書記は、幹部陣容を立派に整えるのに特別な力を入れるべきだと述べ、対幹部活動で党的原則、革命的原則を厳格に堅持して幹部陣容を精鋭幹部化し、そのために対幹部活動体系を革新的に改善することに関する具体的な課題を提示した。

金正恩総書記は、党勢拡大活動と党隊列の管理を責任をもって行い、基層党組織を強固にし、活動家と党員に対する党生活手配と指導を実質的に行うことについて言明した。

市・郡党責任書記が基層党組織を重視する党中央の意図を銘記し、初級党、党細胞との活動を党委員会的な活動に転換させて、基層党組織が党活動を発展する現実の要求に即して改善していくように正しく導かなければならないと述べた。

金正恩総書記は、党生活を強化するのが党活動のキーポイントであり、党の隊列を組織的・思想的に強固にするための保証であるだけに、市・郡党委員会は基層党組織が党

生活総括と党学習をはじめ、党組織・思想生活を正常的に実質的に手配して行い、党会議の運営方法を絶えず改善して活動家と党員の党生活水準を高めるようにすべきであると教えた。特に、新たに改正した党規約と党規約解説集に対する学習を強化し、それを徹底的に順守する気風が全党に確立するようにし、党生活の手配と指導を党大会の決定貫徹へ確固と志向させることを強調した。

金正恩総書記は、農村党の活動を強化して農村階級的基盤をうち固めるべき重要性に触れ、市・郡党委員会が里党書記、管理委員長をはじめ農村初級活動家の陣容を打ち固め、彼らの責任感と役割を強めるための党的指導を強化すべきであると述べた。市・郡党責任書記は、農村への指導活動において農作業の一面にだけ偏らず 3大革命を推し進め、里党活動をもり立てるのに力を入れるべきであると指摘した。

金正恩総書記は、市・郡党組織が大衆を教育し、自覚させるための実効性ある方法を絶えず探究、適用して全社会に革命的で健全な生活気風が確固と支配するようにし、反社会主義、非社会主義を制圧、掃滅する闘いが大衆自身の活動に転換されるようにすべきであると強調した。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が党委員会の各部署に対する指導と統制を強化して、市・郡の全ての活動を党中央の意図に合わせて正確に手配、展開し、活動家と党員と勤労者を奮い立たせて市・郡に提起された革命課題を立派に遂行していくべきだと述べ、そのための具体的な任務を提示した。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記は当該地域の政治、経済、軍事、文化をはじめ、全般の事業に責任を負う党責任活動家であるだけに、自分の政治実務水準と活動能力を画期的に高め、活動作風と風貌を絶え間なく改善すべきであると強調し、次のように続けた。党中央が派遣した全権代表である責任書記にとって最も重要な表徴は、高い党性と政治実務的資質である。市・郡党責任書記は、党の思想と路線に精通するために目的意識的に粘り強く努力することで、党の政策においては詰まるところのない博士になるべきであり、事業の手配と総括の全過程を活動家たちに党の政策を信念として刻み付ける教育過程になるようにすべきである。これとともに、党の活動実務にも精通し、多面的な知識を身につけて高い文化的素養を兼備するために努力すべきである。全国の全ての市・郡を自立的に、多角的に発展させようとするこんにちの時代には、責任書記の水準はすなわち、市・郡の発展である。市・郡党責任書記は、党の政策と党の活動実務はもちろん、自分の市・郡の発展に直結している農業と工業、建築と国土管理、教育、保健医療など、多岐にわたる先進技術と知識を習得するために情熱的に粘り強く努力すべきである。

金正恩総書記は、人民は党中央委員会の尊厳と権威、母なる党の愛と信頼を郡党委員会、特に責任書記の活動方法と作風を通じて実際に感得を受けると述べ、市・郡党責任書記が活動方法と作風、活動スタイルを画期的に改善することについて重ねて強調した。

郡党委員会は、人民が真に心の扉を開けて訪ねてきて胸の内を打ち明けられる実家、

人民の心の中に根を下ろした郡党委員会になるべきであり、責任書記が郡の女主人になるべきであるということはわが党が自分の存在方式、革命的党風を堅持して人民大衆第一主義政治を実現するための最も一般的で初歩的な要求であると述べた。

金正恩総書記は、一部の責任書記の活動と生活で党と革命に対する忠実性、人民に対する献身性、同志に対する尊重の心、活動に対する誠実性が乏しい傾向が現れていることに対して厳しく指摘し、その思想的根源を明白に究明した。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記は自身を革命的に鍛練して徹底的に修養し、党と革命に対する忠実性から幹部と党員の模範になるべきであると教えた。そして、自分自身から党組織と党員大衆を動かし、政治活動を先立たせる固有な党活動方法を体得して具現すべきであり、実践的模範で下部の活動家を教育すべきであると述べた。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が巧みな大衆工作方法を具現することについて強調した。朝鮮労働党の人民的性格、人民大衆第一主義政治を具現する上で市・郡党責任書記は当然、旗手になり、模範になるべきだと述べて、人民の生活上の苦衷を解決する活動を最優先視し、一人に会っても実の父母、実の子息のように対し、彼らの眼光と表情、平凡な言葉から本音を読み取って対策を立てることのできる真の党活動家になることについて言明した。また、朝鮮労働党の伝統的な大衆工作方法通りに大衆の中に深く入って彼らに頼り、彼らの精神力と知恵を汲み上げて、その力で活動の成果を収めるべきだと強調した。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が発言と行動、道徳風貌をはじめとする全ての面で大衆のモデルになるべきであり、そのためには自身を特殊化せず、いつでもどこに居ても目下の人と人民を尊重し、革命の先輩を敬うべきであると述べた。市・郡党責任書記は、つねに自分を派遣した党中央の権威と威信、労働党の革命的党風を考えて礼儀作法を守る上でも垂範になるべきだと語った。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記は活動と生活において清廉潔白性を堅持し、権勢と官僚主義、不正腐敗行為を絶対にしてはならないと述べ、自分自身が党の前に、人民の前に潔白であるばかりか、家族、親戚も絶対に私利私欲を追求しないように戒め、郡内の全ての活動家が権勢と官僚主義、不正腐敗行為をしないように強く掌握、統制すべきであると強調した。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が第8回党大会と党中央委員会第8期第2回総会が示した課題を貫徹するための活動を用意周到に企画し、指導して、市・郡の経済活動と人民の生活改善において明確な実績を上げるべきだと述べて、次のように続けた。市・郡党責任書記の前に提起される優先的な経済課題は、農業生産量を画期的に増やすことである。農業部門の活動家と勤労者を党の農業政策貫徹を目指す闘いへ力強く奮い立たせる活動をつねに重視し、党的な力量を集中すべきである。市・郡協同農場経営委員会が農事の企画を当該地域の特性に即して科学的に、細部的に立てて徹底的に実行するように要求性を強め、経営委員会の活動上の権威を立ててやって市・郡内の農事を実

質的に指導するようにすべきである。特に、農業部門に根深いホラをなくすための闘いを度合い強く展開しなければならない。金正恩総書記は、郡を立派に築いて郡内の住民を豊かに暮らせるようにするのは市・郡党責任書記の当然な任務になると述べ、市・郡所在地と農村を時代文明の高さで築くための計画を現実性あるものにして、自前の技能工力量と建設装備に頼って地方の建設を力強く推し進めるべきだと語った。

自分の地域の自然地理的条件を積極的に利用して地方産業工場を活性化し、一般消費財の生産を増やし、草食家畜の飼育をはじめ畜産を広範囲に行い、養魚を大々的に展開して人民の生活を向上させることについて指摘した。

金正恩総書記は、責任書記が自分の市・郡を発展させ、人民の生活を向上させるための正しい戦略を立て、自分の地域の経済的土台と潜在力を最大限動員、利用する上で提起される方途的問題を具体的に教えた。

金正恩総書記は、偉大なわが人民に仕える上で最も多くの仕事を担っている市・郡党責任書記は必ず真の革命家、共産主義者になるべきであり、そうなるには党中央と思想と志と呼吸をとにもするために絶え間ない努力を傾けなければならないと強調した。

金正恩総書記は、今回の講習会をきっかけに、市・郡党責任書記の眼識がいつそう広くなり、政治意識と革命熱意がよりいつそう高揚して自分の市・郡を裕福で文化的な社会主義楽園に変貌させていく上で新しい大きな歩みを踏み出すとの確信を表明した。

金正恩総書記は、今年もわれわれの闘争課題は膨大で条件は不利であり、わが党に対する人民の期待と願いはいつよりも極めて大きいということを銘記すべきであると述べ、今こそ党中央が打ち出した正確な路線を徹底的に堅持し、正確な政治的指導を実現すべき時であり、したがって市・郡党責任書記に付与された責任はたいへん重くて重要であると再三強調した。

金正恩総書記は、こみ上げる激情と新しい信念に満ちている市・郡党責任書記に偉大なわが党のために、偉大なわが人民のためにみんなが力を合わせて闘っていこうと温かく訴えた。

3日目の同月5日には、党と革命隊伍の一心団結を全面的に固め、市、郡を自立的に、多角的に発展させるための党の指導を実質的におこなううえでの問題を総合的に体系的に再認識させる講習が行われた。

朝鮮労働党中央委員会政治局委員で党中央委員会経済書記である呉秀容書記と朝鮮労働党中央委員会政治局委員で党中央委員会組織指導部長の金才竜氏が講習に出演した。講習では、市・郡党委員会と党組織事業と党の思想活動を革新して革命陣地、階級的基盤をしっかりと打ち固め、活動家と党員、勤労者を党大会決定貫徹へと巧みに奮い立たせる問題が取り扱われた。

組織指導部長は、幹部陣容と党隊列をしっかりと整え、基層党組織の戦闘力を高め、党の人民大衆第一主義政治を徹底的に具現し、青年を革命の継承者、党の後続部隊に準備する上で提起される党活動の実務的問題について講義した。市・郡党委員会が農村党活

動を重視し、農村の初級活動家と除隊軍人との活動を強化し、思想、技術、文化の3大革命を深化させて農業勤労者を革命化、労働者たち化するための課題と方途を詳細に解説した。時代と革命発展の切実な要求に即して大衆の思想・精神力と創造的熱意を向上させるための政治教育活動を斬新に繰り広げ、党宣・伝鼓舞力量を総動員して思想の浸透力、思想活動の実効性を高めることに言及した。

講習ではまた、地方経済を発展させ、人民生活を向上させるうえで市・郡党組織の役割を強めるための方法論的問題が取り扱われた。

講習に出演した経済書記は、朝鮮労働党の市・郡重視思想、市・郡強化路線の総体的目標どおりにすべての市・郡を文化的で富強な社会主義建設の地域的拠点、自分の固有の特色を持つ発展した地域に作るには市・郡党委員会と責任書記が経済活動に対する党の指導、政策的指導をよくしなければならぬと強調した。市・郡の経済発展において大きな分を占める農産と畜産、水産をもちたてるのに優先的な力を入れて人民の食の問題と軽工業の原料を解決するうえでの対策問題を具体的に説明した。農場で科学的な営農方法を取り入れ、社会主義的分配原則を正確に適用するようにはっきりした成果をおさめた市・郡党委員会の経験を紹介しながら経済書記は、農業生産の主人である農業勤労者の生産的熱意を高めるための活動を先行させながら多収穫運動を高調させ、農村の物質的・技術的土台を固める活動を実質的に指導することに言及した。自分の地域の自然地理的特性に即して地方産業工場を活性化し、一般消費財の生産を増やして、市・郡の面ぼうを一新させ、教育、保健医療、スポーツを発展させるための方途的問題について解説した。

講習では、すべての市・郡党責任書記が党と人民が付与した重大な任務を深く自覚し、党活動を強化して自分の市・郡を革命化された地域に作り、地方の経済発展と人民生活向上を目指す闘いで組織者、旗手としての責任と役割を果たしていくことについて強調された。

最終日、4日目である、同月6日は、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員である党中央委員会組織書記の趙甬元書記が、党中央の唯一的指導体系をより徹底的に立てることに関する題で講義した。

趙甬元書記は、党中央の唯一的指導体系をいっそう確立することがわが党の建設と党活動、党の指導力と戦闘力を強化する上で持つ重要性と意義について明らかにし、市・郡党組織が党中央の指導に忠実に従う上で必ず堅持すべき原則と課題を具体的に解説した。党中央の指示に従って党組織が一糸乱れず動き、党の決定を無条件最後まで実行する革命的規律と秩序を確立して、全ての市・郡を党と国家を鉄壁に擁護する鋼鉄の城塞、頑丈な礎石にうち固めることについて述べた。

講習では、市・郡党責任書記が金正恩総書記を首班とする党中央委員会を擁護し、支えるところにわが革命の勝利と祖国の富強・繁栄、人民の幸せな明日があるという哲理を刻み付けて、時代と革命が付与した聖なる任務に限りなく忠実であらなければならない

いと強調した。

講習会では、党の雄大な市・郡強化路線を体して自分の地域を一心団結のとりで、社会主義楽園に立派に転変させるという市・郡党責任書記の固い決意を盛り込んだ誓書が採択された。

金正恩総書記は、講習会を指導しながら、市・郡党責任書記の活動において指針となる貴重な教えを与えた。

金正恩総書記は、市・郡党委員会は党の路線と政策の貫徹を企画し、実行する基本戦闘単位であり、市・郡党委員会が党中央の指導思想と指導力をそのまま具現して大衆を革命事業へと力強く奮い立たせてこそ、社会主義建設の全般的な部門で勝利の旗をはためかすことができると述べた。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記がいつよりも高い責任感をもって活動家と党員、大衆との活動に精通し、巧みに展開して地域発展のための闘いを大衆自身の活動に確固と転換させなければならないと教えた。

責任書記自身だけでなく、市・郡党委員会の活動家をわが党の市・郡重視思想と路線で武装、団結させ、彼らの集団的知恵を発揮させて実質的な成果を収めなければならないと述べ、全ての活動を党政策的要求と具体的な実情に合わせて手配し、広範な大衆に頼るなら、占領できない要塞とはありえないと信念と勇気を与えた。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が発展志向的な目標を明確に設定し、その実現のために継続革命、継続闘争するなら、全ての市・郡が住みよい故郷として変遷するだろうと述べ、党中央が地方の均衡的かつ飛躍的な変革のために構想している重大な事業について具体的に紹介した。市・郡党責任書記は今回の講習会で紹介された優れた経験を自分の活動に積極的に具現して前途を頑強に切り開き、市・郡の発展を力強く導いていかなければならないと述べ、責任書記が常に民心を重視し、自分の活動に対する評価を人民から受けなければならないと懇ろに教えた。

金正恩総書記は、市・郡党活動に関連して提起された多くの問題は各道党責任書記にも責任があると述べ、各道党責任書記が道内の市・郡党委員会の活動を改善し、市・郡党責任書記を指導し、支援する上で自分の職分を果たすべきであると強調した。

金正恩総書記は、第1回市・郡党責任書記講習会の閉講の辞を述べた。

金正恩総書記は、わが党中央は社会主義建設を次の段階へ画期的に移行させる上で市・郡党責任書記の役割に大きな期待をかけてこんかいの講習会をたいへん重視したと述べ、講習会を通じて全ての責任書記を再武装、再自覚、再奮発させ、市・郡党委員会の活動を改善、強化するための実際の経験が蓄積されたと語った。そして、全国の市・郡党責任書記が党中央の意図を一致して深く刻み付け、高揚した政治的熱意と真摯な思索、積極的な姿勢で会議と講習に誠実に参加したことについて高く評価した。

金正恩総書記は、これから市・郡内の活動家と党員と勤労者がわが党の歴史で初めてとなる講習会に出席して帰ってきた責任書記をより大きな期待をかけて注視するとい

うことを常に銘記すべきであると述べ、今回、責任書記が厳かに立てた誓いは自分の郡内の人民に対しての誓約であり、どんなことがあっても無条件実践すべき至上の課題であると強調した。全ての市・郡党責任書記が現在よりも数十、数百倍の果敢な勇気と奮発力、尽きることのない熱情と献身性を発揮して自分の地域を党中央と思想と志でしっかりとつながった一心団結のとりで、人民が実質的な福利と文明を享受する幸福の地盤に転変させるという高い理想と強烈な意欲をもって頑強に実践すべきであると述べた。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が歴史的な党大会と党総会が提示し、今回の講習会で具体化された戦略・戦術の方針と闘争課題に徹底的に立脚して党活動を革新し、市・郡を強化、発展させる上で自分の責任と役割を果たしていくことに言及した。全ての市・郡党責任書記が今日から、新たに任命されて新たに活動を開始するという新しい観点と立場に立って党政策貫徹のための組織・政治活動を非常に強く、迫力あるものに繰り広げ、市・郡の強化、発展の方向舵の役割を立派にして人民が喜び、実感できるはっきりした変化と成果をもたらすべきであると頼んだ。

金正恩総書記は、市・郡党責任書記が人民に対する無条件的な奉仕精神、社会主義建設の地域的拠点に責任を負う活動家らしい組織展開力と実務能力、気高い道德風貌を身につけるべきであると述べ、みんなが第8回党大会が下した決定が輝かしい貫徹として歴史に末永く残るように一意専心で奮闘しようとして胸熱く語った。

金正恩総書記は、偉大なわが人民に仕える道で人民が実際に認める本物の忠実なしもべになろうと熱烈にアピールして、第1回市・郡党責任書記講習会の閉講を宣言した。

南浦市に農業研究院水稻研究所温泉研究分所が新たに竣工

2021年3月12日発『朝鮮中央通信』によれば、南浦市に農業研究院水稻研究所温泉研究分所が建設され、竣工した。

金属工業部門における生産土台の整備、補強

2021年3月13日発『朝鮮中央通信』によれば、金属工業部門の幹部と労働者たちが生産土台の整備、補強に力を入れながら鉄鋼材生産で成果を収めているとのことである。

各地の製鉄、製鋼所でエネルギー節約型の酸素熱法溶鉱炉を建設し、圧延鋼材生産土台を補強する活動が積極的に推進されている。

金策製鉄連合企業所の幹部と労働者たちが消極と保守を排撃し、新しい基準、新しい記録を創造し、鉄鋼材生産のより大きな展望を切り開いている。同連合企業所ではチュチェ鉄生産工程を整備、補強し、技術的に完備するうえで提起される数十件の技術革新案導入計画を現実性あるものに講じたところに基づいてその遂行対策を追随させながら生産工程間の連携を強化している。酸素分離器分工場の技術者、労働者は斬新な着想と大胆な実践で大型酸素分離機の生産性を高めるための合理的な技術的方案を見つけ、必要な設備を増設するとともに運転操作方法をより完成して従来より酸素生産量を1.3

倍に増やした。酸素熱法高炉プラントでは溶鋳炉に吹入される酸素の純度と量に合うように炉の運用を科学技術的に綿密にして取り掛かり一回あたりの鉄湯生産量を増やしながら日別、週別、月別銑鉄の生産目標を狂いなく遂行しているとのことである。

運輸単位では鉄道車両を保守整備して輸送をよりスムーズにできる保証をもたらしているし、製鉄、圧延工務部門の加工職場でもチュチェ鉄生産工程が鉄鋼材生産で効果をあげられるように各種の部品と付属品を適時に生産供給している。

黄海製鉄連合企業所の労働者たちが生産能力拡張のための膨大な工事を促しながら鉄鋼材生産で連日、革新を起こしているとのことである。同連合企業所では酸素熱法溶鋳炉と酸素分離機をはじめとする設備を質的に整備保守するうえで提起される問題を適時に解決するための対策を講じる一方、合理的な炉運用方法を積極的に取り入れて鉄湯生産量を増やすようにしている。酸素分離器 2 職場の労働者、技術者は設備の稼働率を高めて良質の酸素を円満に生産供給しているし、製鋼職場では UHP 電気炉の溶解時間を短縮し、1 回あたりの鉄湯生産量を向上できる作業方法を引き続き探究導入して成果を成し遂げている。

鉄鋼材増産でわが党を忠実に支えた前世代の闘争気風、活動方式に見習い千里馬製鋼連合企業所の幹部と労働者たちも生産土台の整備補強に力量を集中しながら鉄鋼材生産に力を注いでいるとのことである。製鋼職場、圧延プラント、ガス発生炉職場などの労働者は「一人はみんなのために、みんなは一人のために！」というスローガンを高く掲げ、作業班、交替が相互協力し、支援しながら頑強な闘争を展開して毎日、高い生産実績を記録している。

先行工程を任された保山製鉄所では回転炉の整備保守を先を見通して綿密にして取り掛かり、設備管理を技術規定と標準操作法の要求通りにしながら当面の生産を日程計画どおり推し進めているとのことである。

原料保障単位でも連帯的革新を起こして鉄鋼材増産を裏付けているとのことである。茂山鋳山連合企業所の幹部と労働者たちは、自力と技術で足りない設備と部品、資材を解決しながら鉄精鋼生産を中断することなく推し進めている。殷栗鋳山、載寧郡鋳山をはじめとする鉄鋳石生産単位でも生産土台を整備、補強し、より合理的な採掘法、剥土処理方法を広く取り入れるための技術的対策を講じている。

黒鉛と電極、耐火物生産単位で近代化を重要にとらえて新しい技術開発と導入に拍車をかけて生産を増やしている。興山鋳山では国家科学院中央鋳業研究所との緊密な連携の下で現存の設備を最大限、効果的に利用して高品位黒鉛精鋳をより多く生産できる新しい空気機械植付線工程を整えることをはじめ単位の物質的・技術的土台をさらに固めるための活動を実質的に展開している。生産土台の強化と電極の質を高めることに優先的な力を注いでいる興南電極工場では合理的な生産方法を導入するための技術革新運動を活発に展開している。

耐火物生産単位では原料選別、粉碎工程を整えておき、耐火物の質を高めるとともに

坑の浸水復旧を急ピッチに促しながら生産性を裏付けられる坑開発に力を集中しているとのことである。

各道の総合食料工場で、各地の原料に依拠した製品開発

2021年3月14日付『労働新聞』によれば、各道の総合食料工場で、各地の原料に依拠した製品開発が進められているとのことである。咸鏡北道清津市松坪区域寿松洞にある輸城川総合食料工場（2020年1月19日付『朝鮮新報』に詳しい記事がある）、平安北道新義州市にある鴨緑江総合食料工場、慈江道にある将子山総合食料工場、両江道にある青峰総合食料工場などが紹介されている。

中朝首脳の間頭親書交換

2021年3月22日発『新華社』によれば、習近平中国共産党中央委員会総書記と中央委員会の指令により、宋濤中国共産党中央対外連絡部長が同日北京で北朝鮮の李竜男駐中国大使と面会した。李竜男大使は朝鮮労働党第8回大会の状況を全体的に知らせ、中国党と人民が習近平書記の指導の下で、グローバルな公共衛生の危機に対抗するのに成功し、全面的にややゆとりある生活を建設し、徹底的に貧困をなくす闘争において世間が注目する成果を上げていると高く評価する。北朝鮮と中国の関係を強化し、世界の羨望の的に発展させ、友情と団結をもって社会主義の大義を促進することは、私と朝鮮党と人民の揺るぎない立場である。朝鮮は、朝中間の友好関係が、時代の要求と両国民の志向、願い、基本的利益に従って昇華し発展することを固く信じているとの金正恩総書記の間頭親書を伝達した。

宋濤対外連絡部長は、習近平総書記から金正恩総書記への、再び第8回朝鮮労働党大会を祝福し、中国と朝鮮の伝統的な友情は両党、両国、両国人民の共通の宝であると述べた。新しい状況下で、私たちは朝鮮の同志と協力して、中朝関係を維持、強化、発展させ、両国の社会主義的目的を促進し、継続的に新しい結果を達成し、両国民により良い利益をもたらすことを望んでいる。現在、百年に一回あるような情勢の変化とパンデミックの影響が重なっている中で国際的および地域的状況が大きく進化していることを強調した。中国は、朝鮮および関係者と協力して、半島問題の政治的解決の方向性を順守し、半島の平和と安定を維持し、地域の平和、安定、発展および繁栄に新たな積極的な貢献をする用意がある、との間頭親書を伝達した。

同月23日付『労働新聞』によれば、金正恩総書記が中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国主席習近平同志に間頭親書を送った。金正恩総書記は、厚い同志的關係に基づいて両党の戦略的意志疎通を強化すべき時代の要求に従って中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国主席習近平同志に間頭親書を送って朝鮮労働党第8回大会の状況を通報した。

金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会が変化した対内外形勢と現実に合わせて党と

国家活動において新たな革新を起こすための科学的且つ現実的な闘争路線と戦略・戦術的課題を打ち出したことについて具体的に触れた。金正恩総書記は、大会が党の指導力と戦闘力を強化し、健全な発展を遂げ、国家社会制度を強化、発展させるための実践的な対策を講じ、現段階における経済戦略と新たな展望計画を討議、決定したことをはじめ、わが革命の前進方向と闘争方針を確定したことについて披歴した。

金正恩総書記は、わが党が朝鮮半島の情勢と国際関係環境を真摯に研究、分析したことに基づいて、国防力強化と北南関係、朝米関係に関する政策的立場を討議、決定したことについて深みあるものに通報するとともに、敵対勢力の全方位的な挑戦と妨害策動に対処して朝中両党、両国が団結と協力を強化することについて強調した。

金正恩総書記は、中国共産党と中国人民が習近平総書記同志の指導の下で世界的な保健医療危機の大災難を成功裏に抑止し、敵対勢力のヒステリックな誹謗、中傷と圧迫の中でも社会主義をしっかりと守りながら初歩的な富裕な社会を全面的に建設するための闘いで注目に値する成果をおさめていることについて自分の事のようにうれしく思うと述べた。

金正恩総書記は、親善と団結の威力で社会主義の偉業を活力に満ちて前進させていくというのは、朝鮮労働党と朝鮮人民の確固不動の意志であるとし、中国共産党創建 100 周年と朝中友好協力相互援助条約締結 60 周年を迎える意義深い今年も両党の協同が良好に行われ、朝中親善関係が時代の要求と両国人民の志向と念願、根本的利益に合致するように昇華、発展されとの確信を表明した。

金正恩総書記は、習近平総書記同志の健康と中国共産党と人民を指導する重任の遂行においてさらなる成果があることを心から願った。

金正恩朝鮮労働党総書記、朝鮮民主主義人民共和国国務委員長に中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国主席である習近平同志から口頭親書が寄せられた。

習近平同志は、金正恩同志が口頭親書を送って朝鮮労働党第 8 回大会状況を通報してくれたことに謝意を表し、温かい挨拶を送るとともに党大会が成功裏に行われたことを改めて祝った。

習近平同志は、伝統的な中朝友好は両党、両国、両国人民の共同の貴重な富であるとし、新しい形勢の下で朝鮮同志たちと手を取合って努力することによって中朝関係を立派に守り、立派に強固なものにし、立派に発展させ、両国社会主義の偉業が絶えず新たな成果を収めるように促し、両国人民により立派な生活を与える用意があると述べた。

また、国際および地域情勢は深刻に変化しているとし、朝鮮半島の平和・安定を守り、地域の平和と安定、発展と繁栄のために新たな積極的貢献をする用意があると語った。

金正恩総書記がキューバ共産党中央委員会第 1 書記に口頭親書

2021 年 3 月 24 日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩総書記がキューバ共産党中央委員会第 1 書記のラウル・カストロ・ルス同志に口頭親書を送って朝鮮労働党第 8 回大会の状況を通報した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第8回大会が変化した内外の形勢と現実の要求に即して党と国家活動において新たな革新を起こすための科学的かつ現実的な闘争路線と戦略・戦術的課題を打ち出したことと、党の指導力を強化し、国家社会制度を強固にし、発展させるための実践的な対策を講じ、国防力強化と北南関係、朝米関係に関する政策的立場を討議、決定したことについて詳細に言明した。

金正恩総書記は、社会主義偉業の勝利を目指す闘いの道でキューバとの戦略的かつ同志的な団結と協力のきずなを強固にし、発展させ、反帝共同闘争を果敢に展開していくという朝鮮労働党の意志を再び宣明した。

金正恩総書記は、社会主義制度を守るためのキューバ共産党と人民の闘いに対するわが党と人民の全面的な支持と連帯を再確言し、4月に行われるキューバ共産党第8回大会が党をいっそう強化し、その指導的役割を強め、富強な社会主義国家を建設するためのキューバ共産党の闘いで画期的な前進をもたらす有意義な契機になるとの確信を表明した。

金正恩総書記がベトナム共産党書記長に口頭親書

2021年3月24日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩総書記がグエン・フー・チョンベトナム共産党中央委員会書記長兼ベトナム社会主義共和国国家主席である同志に口頭親書を送って朝鮮労働党第8回大会の状況を通報した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第8回大会が変化した内外の形勢と現実の要求に即して党と国家活動において新たな革新を起こすための科学的かつ現実的な闘争路線と戦略・戦術的課題を打ち出したことと、党の指導力を強化し、国家社会制度を強固にし発展させるための実践的な対策を講じ、国防力強化と北南関係、朝米関係に関する政策的立場を討議、決定したことについて詳細に言明した。

金正恩総書記は、社会主義偉業の勝利を目指す闘いの道でベトナムとの伝統的な友好・協力関係を絶えず強固にし、発展させていくという朝鮮労働党の意志を再び宣明した。

金正恩総書記は、グエン・フー・チョン書記長が第13回党大会の決定を貫徹して富強な社会主義国家を建設するためのベトナム人民の闘いを策定、指導する重要な活動でさらなる成果を収めることを心から願った。

金正恩総書記がラオス人民革命党中央委員会書記長に口頭親書

2021年3月24日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩総書記がトンルン・シスリットラオス人民革命党中央委員会書記長兼ラオス人民民主共和国国家主席に口頭親書を送って朝鮮労働党第8回大会の状況を通報した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党第8回大会が変化した内外の形勢と現実の要求に即して党と国家活動において新たな革新を起こすための科学的かつ現実的な闘争路線と戦略・

戦術的課題を打ち出したことと、党の指導力を強化し、国家社会制度を強固にし、発展させるための実践的な対策を講じ、国防力強化と北南関係、朝米関係に関する政策的立場を討議、決定したことについて詳細に言明した。

金正恩総書記は、社会主義偉業の勝利を目指す闘いの道でラオスとの同志的かつ兄弟的な友好・協力関係を全面的に拡大、発展させていくという朝鮮労働党の意志を再び宣明した。

金正恩総書記は、トンルン・シスリット同志が第 11 回党大会の決定を貫徹するためのラオス人民革命党とラオス人民の闘いを策定、指導する重要な活動でさらなる成果を収めることを心から願った。

平壤市 1 万世帯の住宅建設着工式で行った金正恩総書記の演説

2021 年 3 月 24 日付『労働新聞』は、同日 23 日に平壤市 1 万世帯の住宅建設着工式で行った金正恩総書記の演説「5 万世帯の住宅建設によってわれわれの首都をいま一度壮大に変貌させよう」を掲載した。演説内容は次の通り。

栄誉ある首都建設に決起した全ての建設者と人民軍将兵の皆さん！

今日われわれは、わが国の首都建設史に今一つの意義深い里程標を印す光栄にあずかりました。今年度の初頭に開かれた朝鮮労働党第 8 回大会と朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 2 回総会では、5 カ年計画期間に全国的に住宅建設を力強く推し進めるとともに、われわれの首都だけでも 5 万世帯の住宅を建設し、そのために毎年 1 万世帯ずつ建設することを決定しました。

党大会で決定された重大かつ壮大な闘争課題の中で最も張り合いのある誇らしい革命事業が今日、ついに本格的なスタートを切ることになりました。偉大なわが国家の首都平壤に 5 万世帯の近代的な住宅を建設することは、首都市民により安定した文化的な生活条件を提供するためにわが党が大胆に構想し、準備してきた宿願です。

党と政府は、首都の不足する住宅の世帯数を掌握してその解決策を深く検討してきたし、これはわが党と政府にとって最も重大な課題となっていました。

党中央委員会は、この重大な課題をいかなる不利な条件と環境の下でも、どんなことがあっても必ず果すべき栄誉ある革命課題として受け止め、人民大衆第一主義をいっそう確実に具現する原則に立って建築発展の構想と建設政策を再確定しました。

建設の方向と順序を改めて策定し、国家建設総予算の多くを住宅建設に支出するようにし、その実行のための作戦と準備活動を行ったうえで第 8 回党大会で 5 万世帯の住宅建設を政策化しました。

わが党と国家が示した大規模の住宅建設作戦は、何らかの経済的利益のためのものではなく、徹頭徹尾、国家の財産と勤労者大衆の創造的労働の結果がそのまま勤労者自身の福利となるようにするための崇高な事業です。

今日を出発点として今後党創立 80 周年に当たる 2025 年までに毎年 1 万世帯ずつ 5 万世帯の住宅を新たに建設すれば、今建設中の 1 万 6000 余世帯を含めておよそ 7 万世帯の住宅が建設され、首都の住宅問題は立派に解決されるでしょう。

首都にスケールが大きく大々的に住宅を建設することは、折り重なる困難に立ち向かって力強く前進するわが国家、わが人民の不敗の闘争気概を誇示するうえでも大きな意義があります。

周知のように、今年の平壤市の 1 万世帯住宅の建設はようやくのことで決まりました。

実際、挑戦と障害がいつにもまして厳しくなる今のような状況下で、このような大規模な建設を行うこと自体が想像を絶する途方もないことだと言わざるを得ません。

今年の 1 万世帯の住宅建設は、5 年前の黎明通りの建設を始める時とは全く異なる状況下で行われるものであり、さらにはその何倍もの作業量を短時日内にやり遂げなければならない膨大な工事です。

しかし、わが党は 1 万世帯の住宅建設が首都市民の生活と直結しており、党大会の決定を狂いなく貫徹するための初年度の重要な政治的活動であるため、無条件に押し進めることにしました。

われわれには、最も困難な時期に最も壮大、かつ立派な大建設を繰り広げるという大きな誇りと自負、胆力があり、この膨大な建設課題を十分に実行できるという自信と経験、土台があります。

今はまだ建築形成案でしか見られない特色のある高層・超高層住宅が今年末にこの松新・松花地区に林立するようになれば、わが国家の潜在力とわが人民の創造力はいま一度大きく誇示されるでしょう。

この過程に、われわれのチュチェ建築は一段と飛躍し発展するであろうし、自分の方式、自分の力、自分の手で新しい生活を創造し、発展させていくわれわれの建設は、より大きな前進力を持つようになるでしょう。

グリーン建築、乾式工法のような先進的な建築技術、建設工法が大胆に、革新的に導入され、建設装備と建材を生産する工業基地の土台が一層拡大、強化されるであろうし、われわれの建設部隊と建設者はより強力になり、有能になるでしょう。

今日の大建設は、首都の建設史においても記念碑的な意義を有します。これから始まる 5 万世帯の住宅建設は、首都平壤の都市区画を東西方向と北の方向に拡大し、大規模で近代的な新しい市街を形成する歴史的な建設事業です。平壤市の松新地区と松花地区、西浦地区、金泉地区、9・9 節通り地区に毎年順次に 1 万世帯の住宅と独特な公共建物が建設されれば、わが国家の首都はいつそう壮大華麗に様変わりするであろうし、これは最も困難かつ栄えある 21 世紀の 20 年代を象徴する意義深い記念碑となるでしょう。

将来、われわれが建設する新しい市街で暮らすことになる市民と次世代は、最悪の挑戦をはねのけて世界に堂々と誇れる巨大な建築群を建設したわれわれの時代の主人公

を、英雄的な世代としていつまでも追憶するでしょう。このように、今日の大建設は栄光の時代を歴史に記録する偉大な事業です。

同志の皆さん！

建設は時代の到達した精神的高さや国力の集合体であり、文明と発展のための大きな第一歩です。わが国家第一主義を掲げて富強と繁栄へと進む今日、首都の5万世帯の住宅建設場は社会主義建設の新たな高揚期、激変期を象徴する主要攻撃戦線となるでしょう。われわれは5万世帯の住宅建設を通じて、首都の面貌をいま一度変えるだけでなく、社会主義建設を段階別に確信をもって強化、発展させる新しい前進の時代、活力の時代を開くことになるでしょう。

党中央委員会は、膨大な大工事を作戦しながら建設の主演となる強力な主力部隊の編制に優先的な注目を払いました。党中央が5万世帯の住宅建設を決定する際、真っ先に信頼したのは言うまでもなく、党と人民に限りなく忠実な革命武力です。人民軍は祖国と人民をしっかりと守る国家防衛の使命と責任を全うしながら、人民の幸福を創造するうえでも常に大きな役割を果たしてきました。これまで数多くの大建設戦域と被害復旧建設で英雄的偉勳を立てた人民軍が基本戦線を担当してこそ、全般的な建設大戦で確実な成果を収めることができます。私は、われわれの人民軍を誰よりもよく知っています。私は、われわれの将兵が創造的な建設闘争においても、自分の戦闘的気質を余すところなく発揮して、党と人民の期待に必ず徹底した貫徹をもって応えるものと確信します。

これまで黎明通りの建設をはじめ重要な建設現場でめざましい勲功を立てた首都建設委員会と速度戦青年突撃隊、革命史跡地建設局、対外建設局をはじめとする社会の主要建設部隊も今回の大建設戦闘に参加することになります。

大建設戦闘の成否は、直接の担当者である指揮メンバーと人民軍軍人、建設者にかかっています。わが党と国家の建設政策と指導は、最終的にはそれぞれの建設部門の幹部の創造的熱意と努力によって現実化し、党はわれわれの建設者の熱烈な愛国心と才能を何よりも大いに信じています。

設計部門に提起される任務が最も重要です。建設そのものが高度の創造的活動であり、建築物が造形化、芸術化、多機能化、知能化している今日、設計の重要性はより大きくなっています。設計部門に対するわが党の要求は、設計図の一つの線、ひとつの点にもわれわれの時代の思想と精神、躍動する気概が宿り、世界と堂々と張り合う高い理想と文明水準が反映されるようにすることです。設計部門の活動家はすでに確定・示達された市街形成案と設計案通りに、全ての対象設計を党の建築美学的思想が立派に具現された満点のものに作成し、当該の設計図を施工部門に早急に提供しなければなりません。

施工を受け持った各建設単位は、建設工事に即刻着手して日程計画を日別、週別、月別に必ず遂行し、今年の上半期内に担当した建築物の骨組工事を基本的に終えなければなりません。全ての建設部隊と単位では、施工の質を高めることを主な課題とし、建設

工事の全工程を質の保証で一貫させなければなりません。

全ての幹部と建設者が党と国家に対し、人民と次世代に対し、そして歴史に対して自分の忠誠心と愛国心、良心を検証されるという姿勢と立場をつねに堅持するとき、全ての建築物は名実ともにわれわれの時代の立派な創造物となるでしょう。

建設監督部門の役割を強めて、党と国家の建設政策、人民の要求と利益、建築の安全性をしっかりと遵守し保障するようにすべきです。

1万世帯の住宅建設に必要な資材と設備を最優先的にそのつど保障すべきです。セメントや鉄鋼材、各種の建材品や設備の生産を受け持った工場、企業では、労働者たちの革命的熱意と創造力を最大限に発揮させ、任された生産課題を期限内に立派に遂行することによって、首都の住宅建設の成果を保証しなければなりません。

鉄道運輸をはじめとする輸送部門でも、超過輸送運動を力強く繰り広げて、首都の大建設場と鉄鋼材や建材の生産基地に必要な貨物を迅速に運搬すべきです。

全ての活動で政治活動、思想攻勢を優先させて、人民軍軍人と建設者の忠誠心と愛国心、創造的知恵を余すところなく発揚させ、建設の初めから終わりまで全ての建設現場が天をも衝く勢いで沸き立つようにしなければなりません。こうして、大衆を張り合いのある建設闘争に奮い立たせるだけでなく、今日の壮大な首都建設戦闘場が新たな時代精神を生み出し、勇敢な実践家、逞しい社会主義的勤労者を育て上げる熾烈な革命戦域、立派な学校になるようにすべきです。

また、建設に参加した軍人と建設者の健康と生活に気を配り、よく見守ることを最も重視すべきです。国家非常防疫システムの要求に即して建設全域に防疫哨所と施設を手抜かりがなく整え、防疫規定を自発的に徹底的に守る気風を確立するとともに、各種の事故と災害を防止し、建設者が何の不便もなく作業に専念できるように最善を尽くすべきです。軍人や建設者への給養活動を当該単位にのみ任せるのではなく、国家的な保障システムを強めて、全ての建設戦闘員に所定の供給量が確実に提供されるように綿密に手配しなければなりません。

同志の皆さん！

今日はわれわれが鋤入れをしますが、数カ月後にはこの地域に新しい人民の通り、われわれが誇りとする素晴らしい大建築群が生まれるでしょう。他でもなく、この世で一番立派で偉大なわが人民の素晴らしい拠りどころとなる理想的な市街の建設に汗と熱情を惜しみなく捧げることより誇らしく幸せな、誉れ高いことはありません。

より美しく、より壮大に変貌するわれわれの首都の明日のために、

その中で、新しい文明を思う存分創造し享受するわれわれの父母兄弟と子供たちのために、

第8回党大会の決定の立派な実行のために、みなともに力強く闘っていきましょう。

金正恩総書記が新たに生産された旅客バスの試作品を見た

2021年3月26日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩総書記が新たに生産された旅客バスの試作品を見た。金正恩総書記は、党中央委員会第8期第2回総会を指導する多忙な中でも平壤市民の交通問題を解決するための決定的対策を立てる遠大な構想を示して首都交通網発展において提起される問題を具体的に協議した。金正恩総書記が打ち出した課題を体して平壤市旅客運輸総合企業所と平壤バス工場の活動家と労働者たちは、短期間内に交通バスと二階建てバス試作品を開発して党中央に報告した。

金正恩総書記は、党と政府の幹部である趙甬元書記、金徳訓総理、チョン・サンハク書記、李日煥書記、呉秀容書記、崔相建書記、金才竜部長、金栄煥平壤市党委員会責任書記同志と共に党中央委員会の庁舎で旅客バス試作品を見た。

金正恩総書記は、旅客バスに上がって技術的特性を一つひとつ具体的に調べ、平壤市が自分の技術陣と生産土台に依拠してバスを製作し、旅客運輸手段の問題を解決することを決意したのはよいことであると述べ、党で積極的に後押しするので都市美化にマッチし、人民が利用するのにも便利な旅客バスを量産すべきだと述べたとのことである。

(ERINA 調査研究部主任研究員 三村光弘)